

ゆめづくり事例集2013



編集：呉市

まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況を、昨年度に続き、「ゆめづくり事例集2013」としてまとめました。



それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子が紹介されており、地域の皆さんの汗と涙がたっぷり詰まっています。

地域の皆さんの手で育まれ、地域の絆が強まるとともに、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。





ゆめづくり事例集2013 目次





No	事業名	団体名
1	第12回みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	休山登山道の整備&シイタケ栽培	第2地区まちづくり委員会
3	家族日帰りキャンプ	第3地区まちづくり委員会
4	冬祭り	第3地区まちづくり委員会
5	和庄小学校区合同防災・防火訓練及びふれあいもちつき大会	第2地区・第3地区まちづくり委員会
6	長迫公園(旧海軍墓地)清掃	第4地区まちづくり委員会
7	防犯パトロール大会	第4地区まちづくり委員会
8	盆踊り(参加促進支援事業)	第4地区まちづくり委員会
9	区域内防災訓練(荘山田地区, 明立小学校区, 中央地域)と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
10	御手洗研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
11	わくわく子育てサロン	第5地区まちづくり委員会
12	明立小学校区合同防災・防火訓練	第4地区・第5地区まちづくり委員会
13	荘山田自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
14	防災協定の締結・合同防災訓練	第6地区まちづくり委員会
15	第4回 くれ中央地区夏まつり(くれ絆盆踊り大会)	くれ中央地区まちづくり委員会
16	第4回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
17	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 社会福祉協議会
18	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)	第8地区まちづくり委員会
19	とんど祭り	第8地区まちづくり委員会
20	ふれあい広場三条(整備, 運営)	三条地区まちづくり委員会
21	八畳岩登山(登山道整備, 登山)	三条地区まちづくり委員会
22	地域の今昔写真パネル	三条地区まちづくり委員会
23	川原石地区盆踊り大会	川原石地区まちづくり委員会
24	まちづくりパートナー協定締結と防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
25	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
26	「宮原ホタルの里」	宮原地区まちづくり推進委員会
27	宮原地区合同防災訓練	宮原地区まちづくり推進委員会
28	第24回 吉浦ふれあい盆踊りと土曜市	吉浦まちづくり委員会
29	第8回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
30	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークin蒲刈	吉浦まちづくり委員会
31	第17回警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
32	子ども避難体験事業	警固屋まちづくり協議会
33	吉川英治文学碑記念祭50周年記念事業	警固屋まちづくり協議会
34	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会

No	事業名	団体名
35	阿賀まちしるべ事業	阿賀まちづくり推進協議会
36	大空山桜復活事業	阿賀まちづくり推進協議会
37	協議会設立10周年記念事業「広げんきUPキャンペーン」	広まちづくり推進協議会
38	第40回 広子ども祭	広まちづくり推進協議会
39	第65回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
40	仁方夏まつり	仁方町まちづくり推進協議会
41	仁方地区自主防災会合同訓練	仁方町まちづくり推進協議会
42	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
43	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
44	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会 天応まちづくり委員会
45	第8回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区まちづくり推進委員会
46	平成26年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	昭和地区まちづくり推進委員会
47	郷原町盆踊り大会	郷原町まちづくり推進委員会
48	郷原町民運動会	郷原町まちづくり推進委員会
49	郷原町ガイドマップ制作	郷原町まちづくり推進委員会
50	「ガーデンアイランド〈庭園の島〉構想」に基づく全島庭園化	下蒲刈地区まちづくり協議会
51	鯉のぼりの吹き流し	下蒲刈地区グランドゴルフ喜楽会
52	“かわじり”の新しいマップを作ろう！！プロジェクト	呉市川尻町まちづくり委員会
53	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
54	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
55	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
56	東部3地区自治会 とんど祭り	川尻地区自治会連合会東部3地区自治会
57	2013おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
58	トワイライトふれあいフェスタ	音戸町まちづくり協議会
59	島コンin倉橋(広島県最南端で見つける恋)	宝島くらはしまちづくり協議会
60	くらはし お宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会
61	第13回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会
62	ええとこ村プロジェクト事業	安浦町まちづくり協議会
63	野呂川流域自然活動	安浦町まちづくり協議会
64	人材育成研修事業「安浦たんと塾」	安浦町まちづくり協議会
65	後生に残す「まちしるべ石碑」事業	安浦町まちづくり協議会
66	多島美写生大会	豊浜町まちづくり協議会
67	第9回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
68	豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
69	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第12回みずとひ祭り			事業費	350,000円
事業の目的	第2地区まちづくり委員会では、人と人とのふれあいを大切に、活力あるまちづくりの事業として、夏祭り・文化交流会・ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげ多くの人に参加するビッグイベントに発展してきました。今後もより多くの人に参加でき、人の輪が広げられるように、内容を充実させることが必要だと考えています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年8月14日(水) 午後5時30分～午後9時 ・場所 和庄小学校校庭 ・内容 小学生以下を対象とした、ジャンケン大会 お楽しみ抽選会 親子100人の線香花火 和庄中学校及び清水ヶ丘高校吹奏楽部の演奏 神楽の鑑賞と盆踊り 地域の人たちによる模擬店(焼き鳥, 焼きそば, かき氷, 綿菓子他) ・来場者 約800名 				
この事業を企画・実施した人	第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」を目指し、女性会や民生委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体で盛り上げられるようなイベントにしました。				
苦労した点	みずとひ祭りも12回目を迎え、子どもから高齢者まで、地域をあげ多くの人に参加するビッグイベントとして定着しました。今後も、更なる内容の充実を図り、多くの人々の参加を得て、賑わいを創出したいと考えています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>吹奏楽の演奏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>屋台の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>神楽</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>盆踊り大会</p> </div> </div>				

番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	休山登山道の整備&シイタケ栽培			事業費	160,000円
事業の目的	<p>第2地区のシンボルである休山への登山道。かつて休山登山道の入口にある清水谷は、その名の通り清水が湧き出ていました。しかし、土石流などで水汲み場は壊れ、いつのまにか湧き水のことを知る者も少なくなりました。</p> <p>そこで平成22年に登山道整備にあわせて、この名水を復活させました。水質に問題がなければ登山者用の休憩所を整備し、同時に地域住民の憩いの場としても活用します。</p> <p>地元の小学生の自然観察・環境学習の場所として「シイタケ栽培」を試み、毎年収穫することが可能になれば、学校に紹介し学習に活用してもらいたいと思い、この事業を継続しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成22年4月から継続中 ・場所 休山登山道とその周辺 ・内容 平成22年度：地域の力で、案内板の整備や登山道の倒木の撤去などを実施 平成23年度：休山登山道の植樹、自然観察の教材づくり(シイタケのホダ木作り) 平成24年度：休山登山道沿いの整備と桧垣川の清掃、桧垣川上流部の清掃と椎茸ホダ木の設置 平成25年度：シイタケ栽培の研修 シイタケホダ木の設置 				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり委員会が「地域の特色を生かした元気なまちづくり」を目標に、長期的な計画を立てました。第2地区の自治会長とともに民生委員や、地元小学校のPTAとの協力の中で生み出された計画です。</p>				
苦労した点	<p>莫大な枯葉の清掃及びドリルで穴を開けた原木に種コマを打ち込む作業が大変で苦労しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>シイタケ栽培研修の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シイタケホダ木の設置</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ドリルで穴を開けた原木に種コマを打ち込んでいます</p>				





番号	3	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	家族日帰りキャンプ			事業費	約500,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を図り、結びつきを強める。(世代間交流も含む。) ・地域活動の担い手を発掘する。 ・地域の子どもは地域が育てる意識を醸成する。 				
事業概要	<p>【日 程】毎年12月上旬頃に実施 (平成19年度から)</p> <p>【行き先】倉橋町 鹿島社会教育施設(小学校跡)</p> <p>【対象者】地域の子どもからお年寄りまで毎年100~180名程度 平成25年度は、過去最多の185名参加(うち子供が43名)</p> <p>【内 容】野外活動を通じて地域内の世代間交流や青少年の健全育成を推進するために開催しました。今年も多くのご家族が参加し、飯ごう炊飯、カレーづくりの後、みかん狩りや魚釣りなど楽しい1日となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会「ふれあい」のあるまちづくり部会				
苦労した点	平成24年度は、受け入れ先の事情(みかん畑の状況など)により、下関へのバスツアーに代えた。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>調理は子供達も一緒に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>竈は大人が担当します</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>昼食はみんなの手作りカレーを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>食後はみかん狩り</p> </div> </div>				

番号	4	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	冬祭り			事業費	約310,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・楽しみながら、安全安心なまちづくりを考える場づくり 				
事業概要	<p>【日時】平成26年2月9日(日)9:00~12:00</p> <p>【場所】本通小学校グラウンド</p> <p>【内容】</p> <p>平成22年度に、30年ぶりの復活を果たした、「とんど焼き」を中心とした、地域の子どもと大人が交流できる事業で、今年4回目にあたります。</p> <p>とんど焼きの他に、防災訓練、交通安全教室、餅つき大会、大人と子どもの遊び、ものづくり教室、地域特産品等の販売など、盛りだくさんな内容となっています。</p> <p>ものづくり教室や、お餅をついたり、パン食い競争するなど、子ども達がとても楽しむ姿が印象的でした。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】まちづくり委員会 地域文化の伝承部会</p> <p>【実施】第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会・地区子供会和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署・呉市消防団呉東地区隊本通分団第3地区内の商業振興部会・地域内外の有志・呉市</p>				
苦勞した点	<p>とんど設計・製作及び材料集め</p> <p>警察、消防及び各種団体との連携・調整</p> <p>とんどの焼却灰の処理</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>高さ約10mのとんどに点火</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消防の方の指導を熱心に聞きます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ものづくり教室は大にぎわい</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>第3地区名物の子供による餅つき</p> </div> </div>				





番号	5	団体名	第2地区、第3地区まちづくり委員会	代表者	城 健康, 齊藤 晴彦
事業名	和庄小学校区合同防災・防火訓練及びふれあいもちつき大会			事業費	約369,000円
事業の目的	<p>呉市立和庄小学校を通学区域とする地域等の住民が、連携・協働して防災・防火訓練を行うことにより、防災に関する知識・技術の習得を図るとともに、地域の特性にあった防災対策について、第2地区まちづくり委員会及び第3地区まちづくり委員会が合同で研究することを目的として行います。また、訓練終了後は、日本の伝統文化である年越し行事の「もちつき」を参加者全員で体験し、次世代への伝統文化の継承及び世代間、地域間の交流を深めることにより、生活防災意識の高揚とお互いの顔が見える地域社会、いわゆる「面識社会」の実現をめざします。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年12月28日(土)8:00~13:00 ・場所 和庄小学校校庭 ・内容 防災・防火訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれて実地訓練【ロープ結索法, 救急搬送法, 吸水性土嚢袋の取り扱い】(地元消防団指導) ・消火器操作の実地訓練(西消防署指導) ふれあいもちつき大会 <ul style="list-style-type: none"> ・杵でのもちつきや足踏み式もちつきを体験 ・つきたての餅をぜんざいにしたり, きな粉をつけて食べる 				
この事業を企画・実施した人	<p>事業を実施するため、和庄小学校区合同防災・防火訓練及び「ふれあいもちつき大会」実行委員会を立ち上げました。第2地区まちづくり委員会の城会長を実行委員長に第3地区まちづくり委員会 瀧川委員を副委員長とし、地域の共通課題(防災・ふれあい事業)解決に向けて、双方のまちづくり委員会による20名の実行委員を中心に企画・実施しました。なお、財源については、今年度から創設された市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業)を充てました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・和庄小学校区の二つのまちづくり委員会が、連携し合同で行った初めての行事でしたが、自治会連合会区域と学校区が同一でないため、調整するのに苦勞しました。 ・もちつき大会は好評だったので、来年度は、正月の伝統行事と組み合わせて実施したいと思います。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>毛布を担架として使用する訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消火器使用訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>足踏み式もちつきを体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>杵によるもちつきを体験</p> </div> </div>				

番号	6	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	岡本 忠勝
事業名	長迫公園(旧海軍墓地)清掃			事業費	128,169円
事業の目的	<p>長迫公園(旧海軍墓地)をお盆前に地区内住民で清掃している。 戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていた。これまで約60年もの間、清掃活動は継続している。清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げる。 第4地区は範囲が広いが、長迫公園から遠方の住民も参加している。子ども会もラジオ体操の後にこの清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれている。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成25年8月12日(月) 午前6時50分 清掃開始 午前8時 慰霊祭壇に黙とう ・場 所 長迫公園(旧海軍墓地)園内道路や水路を含む周辺一帯 ・参加者 200名 ・内 容 ・清掃 参加者で公園内の植栽、園路、溝、水路、石垣の法面などの全体を清掃する。 参加者に清掃用の手袋と熱中症対策の飲料を配付。 ・黙とう 清掃後、慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げる。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・第4地区自治会連合会とまちづくり委員会 (公園でラジオ体操を行っている子ども会も参加) 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・「まむし」が出るため注意が必要。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動のはじまり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>慰霊祭壇に黙とう</p> </div> </div>				

番号	7	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	岡本 忠勝
事業名	防犯パトロール大会			事業費	305,410円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える11月に、第4地区では一斉防犯パトロール大会をまちづくり委員会の主催で開催している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年11月10日(日) 午前10時 ・場所 長迫小学校体育館 ・参加人数 350名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・当日雨天のため、防犯パレードは中止し、決起大会のみ体育館で行った。 ・大会宣言を行う。 ・アトラクションが好評だった。(東畑中学校のブラスバンド 平原保育園の遊戯) ・女性会より「豚汁」が振る舞われる。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内の地域の防犯・防災を担当する「安全部」が中心となって開催。地元女性会とも連携をとっている。 ・地元の東畑中学校ブラスバンド部生徒、平原保育園園児参加し、地域全体の事業としての広がりを持たせた。 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は、天候不良のため防犯パレードを中止し、長迫小学校体育館で決起大会のみ行った。週間天気でも雨の予報が出ていたため、防犯パレードを決行するか、中止にして決起大会だけを体育館で行うか判断に苦勞した。 				
活動状況	 <p>会場(長迫小学校体育館)</p>		 <p>大会の様子</p>		
	 <p>園児のアトラクション</p>		 <p>女性会による豚汁の振る舞い</p>		

番号	8	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	岡本 忠勝
事業名	盆踊り(参加促進支援事業)			事業費	90,000円
事業の目的	<p>毎年、長迫小学校校庭で、地域の奉賛会と6つの自治会が合同で盆踊りを開催している。第4地区まちづくり委員会では、これまでもこの盆踊りに対して財政的支援を行ったが、地域全体のイベントとしての盛り上がりには至らず、まちづくり委員会としても、どのような支援策が効果的であるかを検討してきた。</p> <p>今年度から、この盆踊りに出展する夜店(焼きそば、フランクフルト、ジュース、かき氷、風船つり、スーパーボールすくいなど)で使用できる買い物券をまちづくり委員会が発行し、地区内の自治会を通じて配付したところ、例年になく多くの参加者が、地域内全体から集まり、地域全体のイベントとして盛大に開催された。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年8月10日(土)・11(日) 午後7時～9時(両日とも) ・場所 長迫小学校校庭 ・参加人数 約 500名(10日(土)) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・夜店 焼きそば、フランクフルト、ジュース、かき氷、 ・ゲームコーナー 風船つり、スーパーボールすくいなど ・盆踊り 長迫小学校校庭にやぐらを組み炭坑節、呉音頭にあわせて踊る。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り 鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会 ・参加促進支援 第4地区まちづくり委員会 				
苦労した点	<p>・範囲の広い第4地区をまとめ、地域文化の伝承と夏の楽しみである盆踊りを盛り上げるため、まちづくり委員会としてどのような方法が最も効果的かを検討し、買い物券の配付という方法をとったが、多くの地域の人に参加し、交流できる有意義な盆踊りとなった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>会場(長迫小学校校庭)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>盆踊りの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夜店(焼きそば)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夜店(子どものための風船つり)</p> </div> </div>				

番号	9	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練（荘山田地区、明立小学校区、中央地域）と防災備品整備			事業費	約1,100,000円 （訓練、備品合計）
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を3ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	惣付地区	中央地域	荘山田地区	明立小学校区
	日時	H25.6.23(日)	H25.12.8(日)	H26.1.19(日)	H25.7.19(金)
	場所	惣付ふれあい集会所	胡町公園、西方寺幼稚園	荘山田小	明立小学
参加者	約100名 幼小中学生、地域住民	約100名 幼小中学生、地域住民	約200名 小学生、地域住民	4地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明	
内容	①②③④⑦		②③⑤⑥⑦	②③⑤⑥⑦	
<p>①消火訓練、②搬送訓練、③救命(AED訓練)、④119番通報訓練、⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話(クイズ)</p> <p>・防災用品収納倉庫:H23;4か所新設、1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24:5か所新設 H25:2か所新設 1か所共用 ※4自治会は自治会で倉庫を設置済み・炊き出し用釜購入予定 ・全自治会に自主防災会が設置され、防災用品購入 ※25年度は、宝くじコミュニティ助成によりテント5張、アンプ3台、ガス発電機3基を装備</p>					
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるよう、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるかわからないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5、第4地区にまたがっている「明立小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう協働事業で実施しました。</p> <p>※防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間で整備しました。幸いにも宝くじ助成によるコミュニティ助成を受けることが出来、地域イベントと同時に、防災活動にも生かすことができました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中 全自治会に自主防災会が結成されました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>救命訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>毛布による搬送訓練</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>炎に向かった消火訓練</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>煙中体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災用品収納倉庫と宝くじ助成によるテント</p> </div> </div>				

番号	10	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	御手洗研修バスツアー			事業費	約250,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学校区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>25年度の目的地は豊町御手洗方面。地元の皆さんにガイドしていただき、歴史的景観や豊かな自然を堪能しました。また、橋伝いに愛媛県今治市岡村島に渡り、対岸から御手洗を眺める経験もしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年8月23日(金) 午前9時出発, 午後4時解散 参加者119名 (小学生68名, 保護者・関係者51名) 訪問先</p> <p>◎豊町御手洗地区散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループに別れ、地元ガイドの皆さんの解説を聞きながら、古い町並みが残るエリアを歩きました。 ・古い劇場を改装した乙女座と、町並みに合わせて外装を整備した集会所に別れ、みんなで昼食を食べました。 ・帰りは、3つの橋でつながっている、愛媛県今治市関前町の岡村島を経由しました。橋の上に県境があり、愛媛県と陸続きになっていることや、散策した御手洗を対岸から眺める経験をしました。 				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流が図られるような企画内容にするため、地区社会福祉協議会と協力して事業を実施しました。 ・充実したプログラムにしたいと考え、事前に現地に行き、受け入れ先の観光ボランティアと調整を行いました。その際、岡村島に橋で渡ることができると知り、帰りのコースに組み入れました。 				
活動状況	 <p>楽しいバスの車内</p>		 <p>御手洗に到着</p>		
	 <p>古い町並みを歩きました</p>		 <p>昼食は昔の劇場・乙女座で</p>		





番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会		代表者	土本 敏明
事業名	わくわく子育てサロン				事業費	約30,000円
事業の目的	<p>第5地区まちづくり委員会では、まちづくり計画の5つの柱のひとつ「住んでいる人にやさしいまちづくり」を推進するため、部会を組織し、子どもから高齢者まで住んでいる人が多くの人と関わり合いが持てるような事業を実施しています。</p> <p>その中で、子どもたちが健やかに育ち、子育てに悩むお母さんが孤立しないよう、地域でサポートしようと「わくわく子育てサロン」を計画しました。年4回程度、山田福祉会館を会場に、毎回、育児・医療・安全など子育てに関するテーマを設定し、民生児童委員や市の担当者等の指導で、わきあいあいと楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思っています。</p>					
事業概要	日時:H25. 7. 2(火) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児31名, 保護者29名 内容: ・七夕飾りづくり ・絵本と紙芝居 ・はじめよう減塩生活 ・七夕のお遊戯会	日時:H25. 10. 4(金) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児29名, 保護者25名 内容: ・お月見会 ・絵本と紙芝居 ・歯の健康 ・ウォーキングの効用	日時:H25. 12. 16(月) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児33名, 保護者29名 内容: ・クリスマス会 ・絵本と紙芝居	日時: H26.2.24(月) 場所:山田福祉会館 内容: ひなまつりを予定		
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「住んでいる人にやさしいまちづくり部会」(9名)のメンバーが、民生児童委員や地区社会福祉協議会と連携して広場を運営しています。					
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会と協力して事業を実施しました。 ・サロンが行われる時だけでなく、地域に帰って日常生活を送る時に、お母さんと子どもが孤立しないための工夫が必要です。参加者同士・参加者と地域住民のふれあいを重視しています。 ・参加者が増加し、会場の山田福祉会館が手狭になっています。 					
活動状況	 <p>住んでいる人にやさしいまちづくり部会</p>		 <p>楽しいお遊戯に子どもは夢中</p>			
	 <p>保健師の健康教室(歯の健康)</p>		 <p>12月のサロン参加者</p>			

番号	12	団体名	第4地区, 第5区まちづくり委員会	代表者	岡本忠勝, 土本 敏明
事業名	明立小学校区合同防災・防火訓練			事業費	約277,000円
事業の目的	<p>隣接する第4地区と第5地区は、互いに市内中心部から灰ヶ峰, 休山中腹に向け住宅が密集する地域にあります。急峻な地形が複数の河川や谷などを形成し、急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難について同じ不安を抱えています。</p> <p>そんな中、「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意が高まってきました。その結果、明立小学校区を通学区とする住民が中心となり、「呉市市民ゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により、2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日時:平成25年7月19日(金)13:30~16:30 場所:呉市立明立小学校 参加者:500名 実施主体:明立小学校合同防災・防災訓練実行委員会 内容:・消防による救助訓練見学(参加中学生を救助) ・4グループに分かれ実地訓練 (ロープ結索法, 救急搬送法, 煙中体験, 応急手当法(AED)) ・炊き出し訓練 ・はしご車体験(幼児) ・避難誘導 ・防災研修(クイズ, 講話)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>この訓練を実施するため、「明立小学校合同防災・防災訓練実行委員会」を立ち上げました。会長 第5地区まちづくり委員会 土本会長, 副会長 第4区まちづくり委員会 岡本会長を中心に、双方のまちづくり委員会による22名の実行委員で企画・実施しました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり全体同士が連携するのではなく、テーマを絞り連携できるところから取組をはじめました。 ・災害は、いつでもどこで起こるかかわからないので、開催日時と場所を考えました。1学期の終業式後、子どもが一旦帰宅した日時に実施しました。 ・その結果、参加者は「そのとき地域に残った人で何ができるのか」と、問題意識をもって参加できました。 ・小学校の全面的な協力がなければ、この訓練は実施できませんでした。 ・2地区を校区とする中学校にも協力していただきました。その結果、校区外の中学生の参加もありました。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>テント設営</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>炊き出し</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ロープ結索法</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>幼児はしご車体験</p> </div> </div>				

番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田自然公園プロジェクト			事業費	毎年約100,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有する。 ・地域の宝として自ら整備することで、自然公園を大切に、子どもに自然を感じてもらい、世代間交流を図り、地域に愛着を持ってもらう。 				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていた遊休地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、自然公園として再整備を始めました。</p> <p>【場所】 江原地区一体の丘の上 【会議】 毎月第3木曜日 【現場整備】 毎月第4土曜日午前中 【イベント】 4月・・・植樹した桜の苗木にネームプレートを付けよう会 11月・・・「あなたの木は、元気かな？」会(毎年) 参加者 80名程度 【広報】毎月発行する地域コミュニティ紙「今ドキっかわらばん」に掲載。イベント過去参加者には、ハガキを郵送。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の荘山田自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たりました。</p> <p>賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、整備ボランティア時には真っ先に声をかけるようにしています。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・炎天下の中での作業 → 6月～9月は活動開始時間を早め、作業時間を短縮しました。 ・3年ごとの中期計画を立てて計画的に整備しています。 ・伸びる草木への対応 → 毎月定期的に会議と作業を行い、作業効率を高めました。 ・作業を継続的に行う難しさ → 半年に1回はイベントを開催しています。また、桜の開花時期が続くよう、およそ120本50種類の苗木を選んで植樹しました。 ・3ヶ年毎に中期計画を立てて計画的に整備しています。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>公園からの眺め</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>手入れのしかたを説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>世代を超えて楽しめる公園に</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>秋に咲く桜も植樹</p> </div> </div>				

番号	14	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	防災協定の締結・合同防災訓練			事業費	約300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における自助・共助の地域力を強化すること。 ・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行う。 ・避難時の問題点の洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。 ・まちづくりの柱の一つに位置づけ、地域が一体となって、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感(絆)が生まれる事業にする。 				
事業概要	<p>【日時・場所】平成25年11月29日(金)11:30~13:30 片山中学校</p> <p>【地元企業の参加】企業の地域貢献の一環として、災害時に藤三片山店から非常食と飲用水等の搬入を訓練の一部として取り組んだ。</p> <p>【防災訓練の内容】11時30分に震度5の地震があったことを想定して、地域内の幼・保・小・中・福祉施設・住民全ての人が、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員の安否確認を行った。</p> <p>その後、グラウンドで、消防局による救助のデモンストレーションや、藤三から搬入された非常食を使った炊き出しを行った。また、災害に備え飲料水100ケースを片山中学校内に備蓄するとともに、昨年自治会等に配備した非常用発電機、簡易リヤカーの運用訓練をした。また、今年は各自治会の避難誘導リーダーに「警笛付き高輝度赤色合図灯」を配備した。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>総勢769人</p> <p>第6地区まちづくり委員会 第6地区自治会連合会</p> <p>片山中学校 荘山田小学校 至心幼稚園 社会福祉法人かしの木</p> <p>(株)藤三 東中央交番 西消防署 消防団呉中央分団</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の訓練で出た課題解決のため、今年は中学生が中心となり、幼稚園児、小学生の非常食の配食等を行った。 また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、直前に配置図を使って再度、説明会を行った。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>搬入された備蓄飲料水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>折りたたみ式簡易リヤカー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>配置図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>リーダーへの事前説明</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第4回 くれ中央地区夏まつり(くれ絆盆踊り大会)			事業費	約650,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないので、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション建設により住民は増えていますが、自治会に加入しないケースが多いため、若い力を地域行事などに呼び込むのが難しくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しました。</p> <p>なお、今回は、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々による「呉音頭」講習があり、盛大に盆踊り大会を催し、世代を超えた「つながり」や「絆」を深めました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年8月25日(日) 17:30~20:30 ※準備は13:00~, 後片付け終了は21:30</p> <p>場所 中央公園噴水西側</p> <p>内容 模擬店運営 かき氷30貫800人分, フライドポテト24kg200人分, たこ焼き1,000個, 焼きそば480人分, フランクフルト400本, 焼き鳥250本, コロッケ400個, 唐揚げ40kg, 点心300セット, 飲み物(生ビール, 缶ビール, ジュース) こども広場運営 ヨーヨー釣り, スーパーボールすくい, 当てくじ, お宝釣り, お楽しみ抽選会(うちわくじ) くれ絆盆踊り, 子ども花火</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会(メンバー20人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員, 行政職員(市, 警察), くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>今年は、くれ絆盆踊り大会を併せて実施するため、会場をこれまでの体育館前児童公園から、噴水西側へ変更し、模擬店の出品数や種類を増やし、ステージを設営しました。</p> <p>そして、地元ボーイスカウト・ガールスカウトによるブラスバンド・バトントワリングを始め、和太鼓ロックやジャズバンドの生演奏、子どもお楽しみ抽選会、盆踊りなどで雰囲気が一層盛り上がりました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ブラスバンドでオープニング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもお楽しみ抽選会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>模擬店の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> </div>				





番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第4回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約50,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年5月18日(土) 午前9時～午後1時 参加者 110名(うち初参加36名) 内容 ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河公園多目的グラウンド→中央公園 モデルコース(中央地区半周) 3.5km 中央公園→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→ 二河沿い→中央学園→中央公園 健脚コース(中央地区一周) 6km 中央公園→二河公園→東片山町→辰川沿い→市役所→蔵本通→ 大和ミュージアム→二河川公園→二河沿い→共済病院→ あいさつ通り→中央公園 ※ ゴール後、中央公園で防災訓練(カレーライス炊き出し)を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会(メンバー9人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員(健康くれ体操)などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中央公園に集合・受け付け</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>準備運動(健康くれ体操)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>健脚(6km)コースウォーキング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練(カレーライス炊き出し)</p> </div> </div>				

番号	17	団体名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 社会福祉協議会	代表者	城 健康 (平成25年度)
事業名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会			事業費	1,510,000円
事業の目的	<p>高齢化の進展に伴い、お年寄りの数が増える一方、社会の大きな転換期にある中、お年寄り以外の地域の担い手を確保することが難しく、「お年寄りを祝う」ための敬老会を、単位自治会や地区自治会連合会・地区社会福祉協議会単位ごとに、「お年寄り以外の手で」開催することが難しくなっています。</p> <p>このような中、行事に係る事務の簡素化とイベント規模の維持・拡大、また地域間の交流・連携を図ることを目的として、平成21年度から、中央地域の複数の地区社会福祉協議会が「合同敬老会」を共同開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年9月14日(土) 13時～15時30分 場所 呉市文化ホール 来場者数 1,400名 内容 【式典・演芸の部】司会:吉本みほこさん(第2地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏(呉市立和庄中学校吹奏楽部) ・呉警察署講話(振り込め詐欺にご用心) ・園児遊技(呉あそか幼稚園) ・各地区出し物 (第2・第3・第5・中央地区:120名 合同コーラス, 第3地区:みんなで唄いましょう) ・歩一歩体操(社会福祉協議会) ・神楽鑑賞(大森神楽団「戻橋」) 				
この事業を企画・実施した人	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区社会福祉協議会の会長が幹事役を持ち回り、会長及び役員、呉市(地域協働課)の協働により、6月から会議を重ねてイベント内容について協議しました。				
苦勞した点	敬老者にゆったりとした気分で楽しいひとときを過ごしていただけるよう、アトラクションの内容について協議を重ねました。この度は、4つの地区が合同でコーラスを行い、最後に傘を開き花に見たてるなど、いつも創意工夫しながら行っています。また、メインアトラクションの神楽は、特に人気があり敬老会の目玉なので、今後も続けていきたいと思っています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>楽器演奏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>120名コーラス</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>園児遊戯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>神楽鑑賞</p> </div> </div>				

番号	18	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)			事業費	241,000円
事業の目的	<p>今年度で第11回目を迎える「ふれあいまつり」には、地区内の各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店している。また、子ども会による輪投げなどのゲームコーナー、そして、盆踊り(呉音頭)も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっている。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されている。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年8月26日(月) 午後6時～午後8時30分 ・場所 二河川公園, 二河川河川敷 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・夜店(二河川公園) カレー, おでん, やきそば, ジュース・かき氷, ビール, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, 焼き鳥 (メニューは同じだが, 毎年, 担当自治会がローテーションで変わる。) ・ゲームコーナー(二河川河川敷) 輪投げ, ヨーヨー釣り, スーパーボールすくいなど ・盆踊り(二河川河川敷) 呉音頭にあわせて踊る。 				
この事業を企画・実施した人	地区社会福祉協議会とまちづくり委員会が協力して実施 (子ども会, 呉音頭普及部会, 各自治会も参加)				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年, 夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため, 材料の調達や準備などが毎年変わり, その対応に苦慮していたが, レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っている。 ・今年度は, 当初予定していた8月24日(土)が雨天のため, 月曜日開催となったが, 昨年同様, 多くの参加者で賑わった。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>スーパーボールすくい</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夜店</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> </div>				


番号	19	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の目的	心ふれあうまちづくりの推進のため、地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団の協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催している。 市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地区全体の「とんど祭り」として広がりを見せている。				
事業概要	<p>日時 平成26年1月19日(日) 午後1時～午後3時(点火は午後1時)</p> <p>場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>内容 ・とんど(二河川河川敷) 青年団を中心に、ワラや竹などの材料を調達して、とんどの「やぐら」を組む。 その年の干支(今年は午年生まれの人)生まれの人たちによってとんどに点火。 今年も、海外からの留学生や研修生55名が参加し、日本の伝統文化を経験した。 (自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、餅焼きや竹筒で暖めた「笹酒」を楽しんだ。)</p> <p>・模擬店(二河川公園) 第8地区民生児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞う。</p>				
この事業を企画・実施した人	・地区社会福祉協議会, まちづくり委員会, 地区民生児童委員協議会, 青年団, 消防団など				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。 ・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げている。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>とんど前に集合</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>留学生, 研修生の書き初め</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>とんどの炭で餅焼き</p> </div> </div>				

番号	20	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	ふれあい広場三条(整備, 運営)			事業費	約360,000円 (家賃補助)
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、空き店舗を借受け平成24年9月に開所。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中で人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後は子どもたちが集う、笑い声が絶えない場になっています。日常利用だけでなく季節のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区にしていきたいと思っています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・場所 呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗(平成24年9月8日オープン) ・活動時間 毎週月曜日～土曜日(日曜・祝日は休所日)午前10時～午後4時30分 ・面積 (間口)3m×(奥行)12m＝約36㎡(約11坪) 家賃 3万円/月 ・利用料金 無料(お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円(夏季限定)で提供) 誰でも無料で利用できる無料休憩所 ・運営体制 1日3人のボランティアにより運営(合計18人役/週) ・メンバー 三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など ・利用実績 最近の利用人員(H25.9～10の2ヶ月間) 1,103人(月平均 552人、一日平均 23人) <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・木曜日の午後は将棋と囲碁の日 ・イベント 6月 - 七夕飾りづくり 7月 - 第1回 夏祭り 9月 - オープン1周年記念事業 11月 - 松山市久枝自治会視察交流、12月-クリスマス会 2月 - 節分 3月 - 震災を忘れないために11コンサート(予定) その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」 広島県のフォーラムに参加するなど事例発表 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場三条の会 <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも(特に高齢者)が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するに当たり「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援(家賃と、25年度限定で空調・パソコン整備)と人的支援を受けています。 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増えています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保 ・自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>第1回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>開館1周年イベントを実施したスタッフ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>普段の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>視察団との交流</p> </div> </div>				





番号	21	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山(登山道整備, 登山)			事業費	40,000円 (整備費, 保険等)
事業の目的	<p>地域の裏山にあって, かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が, 人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。 5年ほど前からまちづくり委員会では, 消防団の協力を得て, 八畳岩までの登山道を整備し, 参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。 みんなで登る八畳岩は, 地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年4月13日(土) 午前10時(集合)～午後2時(下山) ・参加者 約40名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備事業 毎年, 登山前に時間をかけて登山道を整備。(消防団も協力) ・八畳岩登山 八畳岩に登り, みんなで昼食を食べた。(消防団も協力) 【集合】両城小学校校庭に集合 → 保険申込(記入) → 準備運動 【登山】八畳岩に向けて登山 【山頂】八畳岩で昼食, 記念撮影, 山頂から自分たちの住むまちを眺望 【下山】予定より早く到達したため, 北塩屋方面への道を辿りながら下山 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内の「階段のまち」部会 ・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し, 部会長を中心に事業を実施しています。 ・八畳岩登山は, 地域内の良さ(お宝)を再発見し, それを維持, 保存するとともに, 広く住民に周知し, 自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備箇所が多く全体の整備には時間がかかっていましたが, 年々環境が整い, 落葉除去程度で済むようになりました。 ・整備機材や材料の運搬が大変でした。 ・事前整備をしなかったルートで下山し, 難儀でした。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>登山道の整備(トラロープ張り)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハードな道もみんなで楽しく</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>頂上に到着</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>八畳岩で記念撮影</p> </div> </div>				

番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	地域の今昔写真パネル			事業費	約10,000円 (地域語り部謝金)
事業の目的	<p>両城・三条地区まちづくり計画の5つの方針の一つ「Welcome！歴史再発見階段の町へ」の事業を実施する通称「階段部会」。地域の昔話やお宝の発見、発掘と維持保存活動を実施しています。</p> <p>地域の若い世代に歴史を引き継いでもらい、地域外、市外へアピールしてもらいたいと期待しています。また地域内の高齢者には、単に懐かしんでもらうだけでなく、映像や写真を見て、写っている場所や人物のチェックで、資料精度の向上をお願いできたらと考えています。</p>				
事業概要	<p>日常的に、古い写真や8ミリ映像などの提供を、地域の人に呼びかけています。また、郷土資料に登場する地域の写真を調査、収集しています。</p> <p>古い写真については、代表的なものをコピー、拡大し、パネルにしました。そこに写り込んでいる場所の現状写真と対比させて展示し、まちの移り変わりを確かめてもらっています。</p> <p>特に、これらのパネルは、地域の敬老会で展示しました。会場に来られた方に、熱心に見ていただきました。</p> <p>また、昭和62年の三城コミュニティ道路完成記念日の様子を写した8ミリビデオは、DVDに変換しており、ふれあい広場などで、いつでも見る事が可能です。</p>				
この事業を企画・実施した人	「Welcome！歴史再発見階段の町へ」の事業を実施する「階段部会」が中心となって資料を収集し、展示する場合は、まちづくり委員会の会員が総出で手伝っています。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・古い資料の中で三条地区の写真が少ない。 ・地域の方からの資料提供が、まだまだ少ない。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>戦前の三城通り商店街の図を見ながら、部会で検討会議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三城コミュニティ道路完成記念日のDVDを見ながらの検討会議</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">敬老会での今昔写真展。合わせて、古い写真の提供を呼びかけた</p>				

番号	23	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区盆踊り大会			事業費	600,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、かつて伝統地域文化であった「川原石踊り」を平成22年に46年ぶりに復活させ、その伝統文化を引き継ごうと盆踊り大会で踊り継ぐ取組をおこなっている。</p> <p>また、地域の「面識社会」実現の手法として、うちわによる抽選会や民生委員・消防団等の地域団体がかつての夜店を演出し、綿菓子や小売りや駄菓子くじを企画・実行し、一人でも多くの地域住民の絆づくりを図るよう工夫を凝らしている。</p> <p>こうして各世代・各団体が役割分担をして準備・実施・後片付けを行う事で地域全体の絆づくりと地域伝統文化継承に取り組んでいる。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年8月14日(水) 午後6時～ ・場所 川原石マリンパーク ・内容 盆踊り(川原石踊り, 呉音頭, 炭坑節) うちわくじを使ったお楽しみ大抽選会 わたがし・かき氷・風船つりなどの夜店の開店。 消防団による防災ビデオの上映 ・参加者数 地域住民600名参加 				
この事業を企画・実施した人	<p>・川原石地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「住民の絆づくり」・「世代間交流」と「地域文化の継承」を目指し、まちづくり委員会を中心に川原石地区各団体が参加実施し、オール川原石で取り組む大イベントに成長した。</p>				
苦労した点	<p>・地域に「川原石踊り」を踊れる人が、年々高齢化し少なくなるなか、日赤川原石分団を中心に習得し、現在はその人たちが先生となって7・8月の毎土曜日に伝承会を開催している。</p> <p>また、同時に太鼓の練習や継承も行っているが、踊りも太鼓のリズムも独特で習得が一朝一夕にはいかず、繰り返しの練習が必要である。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>櫓の準備</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子1</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子2</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地域ボランティアによる模擬店</p> </div> </div>				





番号	24	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	まちづくりパートナー協定締結と防災訓練			事業費	200,000円
事業の目的	<p>川原石まちづくり委員会は、住民の絆づくりと安全・安心な地域を目指してまちづくりを進めています。その一環として地元スーパーも地域財産の一つと捉え、地域のまちづくりと災害時の協力と支援への協定を締結しました。</p> <p>また、川原石地区は海岸に近く、急傾斜地が多い地域であり、津波災害や土砂災害発生時に、どう身を守り、安全に避難するかを、自分達が実際住んでいる地域の災害予想地図を使って防災と避難のシュミレーション訓練を行いました。</p>				
事業概要	<p>・日時 平成25年11月24日(日) 午前9時30分～</p> <p>・場所 二川公民館2階ホール</p> <p>【まちづくりパートナー協定調印式】</p> <p>(株)藤三と川原石まちづくり委員会とがまちづくりに関する協定書の調印を行いました。協定内容は、まちづくり委員会への事業協力と災害発生時の避難場所と避難物資の提供というものです。</p> <p>【災害図上訓練DIG】</p> <p>災害発生時の避難や共助の必要性を学んだ後に自分が住んでいる地図を使用して、実際に災害が発生した事を想定した訓練を行いました。</p> <p>約200名の地域住民が参加</p>				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会と川原石地区自主防災会が中心となり、消防局危機管理室の指導により実施しました。				
苦労した点	<p>・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと</p> <p>・参加者に「いざというときにどのような経路で避難し、どのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として、分かりやすく伝えられるような訓練にすること</p>				
活動状況	 <p>パートナー協定調印式</p>		 <p>消防局職員による防災研修会</p>		
	 <p>防災訓練(DIG)の様子</p>		 <p>できあがった地図</p>		



番号	25	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	瀧川 侃志
事業名	中央地域成人式			事業費	1,008,000円
事業の目的	今年で5年目となる中央地域の成人式。新成人が生まれ育った地域の方々(祝う人)と新成人(祝われる人)の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や教育委員会の行政も一緒になって協働という形をとりながら開催している。				
事業概要	<p>日時 平成26年1月13日(祝) 午前11時～午後1時</p> <p>場所 呉市体育館(体育館前の駐車場も含む。)</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典(新成人4名によるはたちの誓い, 新成人による司会進行) ・新成人によるはたちの大抽選会(成人リーダー企画) ・はたちの同窓会(なつかしい友達や恩師を囲んでの同窓会) ・記念撮影スポット ・はたちの誓いメッセージボード(成人リーダー企画) ・地域の贈りもの(各地区からの食べ物などのおもてなし) ・各地区からのボランティア(受付, 模擬店の出店) ・着付け教室による「着付け110番」ボランティア(5名参加) ・市立呉高等学校生徒によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 34名) ・市職員によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 新入職員を含む 36名) 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域成人式実行委員会 中央地域の9つの自治会連合会, 海上自衛隊呉海曹会, 呉市, 呉市教育委員会 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の連絡調整会議(実行委員会)を何度も開き, 関係団体間の連絡を密にすること。 ・新成人リーダーを募り, 新成人の企画を実施すること。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>式典(4人による「はたちの誓い」)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>はたちの大抽選会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地域からの贈物(模擬店)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>はたちの同窓会</p> </div> </div>				



番号	26	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	「宮原ホタルの里」			事業費	
事業の目的	<p>この事業は、神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として整備し、お年寄りから子どもまで身近なところでホタルを見ることができるようにする。</p> <p>また、この地で育ち易いアジサイを植栽し、宮原地区の花として、アジサイいっぱい地区にする。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地(約600㎡)の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行ってきました。</p> <p>多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、3月末日に「宮原ホタルの里」は完成しました。</p> <p>平成25年 4月18日 完成記念式典 6月15日 ホタルとメダカの放流会 7月30日 あじさいのせん定 11月27日 いのしし対策のため金網、柵の設置</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会にホタル幹事会を設け、室瀬町在住のホタル愛好家等の御指導を頂いて事業を進めています。</p> <p>また、整備工事に当たっては、自治会連合会、女性連合会、地元企業などの団体に協力していただきました。引き続き地元の住民で管理運営を行っていきます。</p>				
苦勞した点	<p>ホタルの里は完成しましたが、その後の管理運営が大変で、いのししがあじさいをなぎ倒し、急きょ柵を設置したりしました。</p>				
活動状況	 <p>落成記念式典</p>		 <p>ホタルとメダカの放流会</p>		
	 <p>あじさいせん定作業</p>		 <p>金網、柵の設置</p>		



番号	27	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	宮原地区合同防災訓練			事業費	
事業の目的	宮原地区の全自治会に自主防災組織が発足したことを記念し、合同で全体訓練をすることにより、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的とするものです。				
事業概要	日時:平成25年10月14日(月・祝)8:50~12:15 場所:宮原中学校運動場 内容: 第1部(避難訓練) 第2部(実施訓練) ・初期消火訓練(訓練用消火器による消火) ・救助訓練(簡易担架作成) ・応急救護訓練(重傷者への応急処置,心肺蘇生法) ・煙中訓練 第3部(給食・給水訓練) 女性会による炊き出し訓練				
この事業を企画・実施した人	宮原地区各自主防災会 第1区民生委員児童委員協議会 宮原女性連合会 宮原地区老人クラブ連合会 宮原体育協会		呉市消防局(西消防署) 呉市消防団 大和分団 呉市立宮原中学校		
苦勞した点	2回目の宮原地区合同の防災訓練で、今回から宮原中学校全校生徒が参加し、人数がかなり増えたため、役割分担や訓練内容の変更をするのが大変であった。実際の非常時では、要援護者の避難誘導が課題としてあげられる。				
活動状況	 <p>訓練開会式</p>		 <p>初期消火訓練</p>		
	 <p>救護訓練</p>		 <p>応急救護訓練</p>		

番号	28	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	第24回 吉浦ふれあい盆踊りと土曜日			事業費	388,348円
事業の目的	<p>平成2年、ふるさと吉浦に古くから伝えられている「吉浦音頭」ならびに「新吉浦音頭」による盆踊りを町民に広く普及させ、盆踊りをつうじて地域の活性化と町民相互のふれあいを高め、この伝統行事を子々孫々に伝えていくことを目的として、地域内の各種団体が協力して事業を立ち上げました。</p> <p>現在では、吉浦地区の年中行事として定着しております。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年8月10日(土) 午後6時～午後8時 ※準備は午後4時～</p> <p>場所 吉浦商店街周辺</p> <p>内容 模擬店 かき氷、フライドポテト、焼鳥、たこ焼き、綿菓子 飲み物(生ビール、缶ジュース) ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、金魚すくい お楽しみ抽選会 盆踊り、子ども達へのお菓子配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の各種団体が役割分担を行い、吉浦商店連盟、金融機関、市民センター職員などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。				
苦労した点	「音頭くどき」を唄える後継者の育成が課題となっています。				
活動状況	 <p>盆踊りやぐら設営準備</p>		 <p>音頭くどき</p>		
	 <p>模擬店の様子</p>		 <p>盆踊り</p>		







番号	29	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	第8回 吉浦地区防災訓練			事業費	53,420円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時 平成25年10月20日(日) 午前10時～12時 ※準備は午前7時30分～</p> <p>場所 吉浦小学校(雨天のため、吉浦運動場から集合場所変更)</p> <p>内容 (1) 第1部(避難・誘導訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所(吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始)《地区住民約200名》(吉浦小学校へ避難者を誘導)《自治会長, 民生・児童委員》 <p>(2) 第2部(実地訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 初期消火訓練(消火器による消火訓練, 天ぶら油火災実験) イ 救助訓練(簡易担架作成) ウ 応急救護訓練(重傷者への応急処置, AED使用方法の講習) <p>(3) 第3部(給食・給水訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉浦女性会による炊き出し(むすび, みそ汁等) ・民生・児童委員による災害備蓄食品(乾パン)の配布, 試食 				
この事業を企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦労した点	当日早朝に、雨天による避難場所変更を決定したため混乱が予想されましたが、町内放送・自治会連絡網による情報伝達により、遅滞なく訓練が開始されました。				
活動状況	 <p>各地域からの避難終了</p>		 <p>消火器による初期消火訓練</p>		
	 <p>救助訓練(簡易担架作成)</p>		 <p>炊き出し訓練(味噌汁配布)</p>		


番号	30	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークjn蒲刈			事業費	約80,000円
事業の目的	吉浦町においては、絆づくりは人づくりと考え、人材の育成研修をまちづくりの重要推進テーマと考えています。そのため、この事業を、「よし浦まちづくり発見隊」と名付け、今年度から取り組みを行っているものです。その目的は、ふるさとよし浦・くれの良さの再発見及びくれ市外の優れたまちづくりの良いところを自ら実地に調査研究することにより、吉浦まちづくり委員会の委員等において、今後の地域力向上・発展に繋がる人材発見・育成の推進を図る(よし浦まちづくり発見隊事業実施要綱第1条)ものです。				
事業概要	日時 平成26年1月30日(木) 10時～ 場所 蒲刈町恵みの丘蒲刈ほか 内容 参加人員 計25名(委員15名, 委員外町内在住者10名) 学んだ点 大テーマ 特色ある地域資源の活用 小テーマ ①環境保全型農業の実践を手法とした観光農業の取り組み(イチゴの有機低農薬栽培など) ②豊かな農産物, 海産物の地域食材を供給する地産地消への取り組みなど				
この事業を企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会(協力:蒲刈町まちづくり協議会(蒲刈市民センター))				
苦労した点	あいにく雨天明けのため、予定していたみかん園の視察は、傾斜地で足元が悪いため、安全配慮のためできませんでした。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>←イチゴハウスにて、 水耕栽培方法の説明講義風景</p> <p>「こんなに赤く輝いているイチゴは、 見たことがない」と、一同驚嘆しました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>地元特産品加工グループが → 運営する「ハーブ工房」視察風景</p> <p>「温かみのあるすごくおしゃれな 空間」と、皆居心地最高の気分でした。</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>				


番号	31	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	第17回警固屋さくら祭			事業費	484,264円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心とした自立的な運営を進め、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図る目的で実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成25年4月7日(日) 10:00 ~ 14:00 ※今回より4月の開催となりました。</p> <p>場所:警固屋体育館 ※雨天のため会場を変更しました。</p> <p>内容:①イベントの部</p> <p>【ステージ】</p> <p>出演団体:日新製鋼シルバーサウンズ, 警固屋みらい保育所, 消防団はしご隊, ジャザサイズ, 鍋保育所, 警固屋小学校, 鍋ひよっこ踊り同好会, 県民踊・渦潮会, レイフラワーオハナ警固屋, 鍋よっしゃこい踊同好会</p> <p>【子ども関連】</p> <p>さくら茶屋(警固屋中学校生徒による野点)</p> <p>②売店の部 地元団体など計12の飲食ブース及び物販ブースを出店</p> <p>③フリーマーケットの部 計20のマーケット出店</p> <p>④コーナーの部 餅つき(消防団), マツダ車展示(呉郷心会), 健康管理(警固屋地区運推), 花の苗無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会(部会員14名, オブザーバー1名)が, イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも, 自治会や女性会, 民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営, 撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦勞した点	今回は雨天のため急遽会場を公民館駐車場から体育館に変更することになり, 事前の雨天対策が万全でなかったこともあり, 準備に苦勞しました。毎年, 天候の変わりやすい季節の開催となるので, 次回以降は対策にもっと力を入れていきたいと考えています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブースに集まる来場客</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>園児による太鼓演奏</p> </div> </div>				


番号	32	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	子ども避難体験事業			事業費	137,272円
事業の目的	【避難所での宿泊体験を通じた防災学習の推進】 小学校の夏休みを利用し、避難所での宿泊体験を行うことで、災害時の対応方法を学ぶとともに、レクリエーション等を通じて地域住民との親睦を深めることを目的として実施しております。				
事業概要	日時:平成25年8月3日(土) 14:00 ~ 同4日(日) 9:00 場所:警固屋公民館・体育館 など 参加者数:47人(小中学生31人・保護者16人) 内容:防災体験【協力:呉市防災センター】 ・地震体験等各種体験 避難所設営 ・体育館にダンボール等で休憩・就寝スペースを設営 レクリエーションゲーム 健康づくり朝会【協力:警固屋地区運推】 清掃・後片付け				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の構成団体である警固屋小学校PTAが主体となって企画立案し、当日は呉市防災センター及び警固屋地区運推の協力をいただいて実施しました。				
苦労した点	警固屋小学校PTAの方が積極的に動いて運営してくれたため、終始PTA主導で事業を進めることができました。 事前の準備等もスムーズに行うことができ大きな苦労はありませんでしたが、開催日が呉海上花火大会と重なっていたこともあり、参加者数が思ったより伸びなかった点が今後の検討課題と思われます。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>防災センターでの災害体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ダンボールを使った避難所設営</p> </div> </div>				






番号	33	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	吉川英治文学碑記念祭50周年記念事業			事業費	69,454円
事業の目的	音戸の瀬戸公園内にある『吉川英治文学碑』が建立から今年で50周年の節目を迎えるにあたり、記念イベントを行うことで、住民の吉川英治に対する理解と文学碑の周知を図りました。				
事業概要	日時:平成25年9月1日(日) 9:00 ~ 12:00 場所:吉川英治文学碑, 警固屋公民館 内容:以下のとおり。				
		内容	時間	開催場所	参加者数
	①	献茶・献花	9:00~9:10	吉川英治文学碑	まち協役員19人
	②	お茶会	9:20~10:20	警固屋公民館 礼法室	まち協役員22人
	③	記念講演会 (講師:警固屋中学校長 芦谷 正徳氏)	10:30~11:50	警固屋公民館 2階ホール	地区住民49人
事業終了後は講演会の内容をまとめた広報資料を印刷し各戸へ配布。					
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会に設置されている企画部会がイベントの企画立案から実施までを担当。警固屋中学校校長の芦谷氏にも講演の協力をいただきました。				
苦勞した点	今年度からの新規事業であったため、事業内容や予算をどのように調整していくかという点で苦慮しました。 来年度以降をどのように対応していくかという点が、今後の検討課題と思われます。				
活動状況					
			左上 献茶・献花 右上 お茶会 左下 記念講演会		

番号	34	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	450千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちを募集し、若者の発想により提案されたまちづくり事業を実施する。</p> <p>このことにより、地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者の発掘と波及効果により若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>①メンバーの募集、会議の開催(月1回程度) メンバーにより、自由な発想で阿賀を元気にする事業を話し合い、事業を企画し提案する。</p> <p>②審査・承認 「阿賀まちづくり推進協議会委員」に事業を提案し、承認を受ける。</p> <p>③事業準備 事業内容の承認後、事業の準備を若者グループで行う。</p> <p>⑤事業実施 予算の範囲内で年度内に事業を実施。</p> <p>⑥事業報告会の開催 事業の実施後、まち協へ事業報告を実施。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	<p>若者グループのメンバーが自主的に考え、自主的に動き、また、地域の人たちや学校の協力も得られたため、スムーズに事業が進められた。このため事務局としては苦勞といえるものは無かった。</p> <p>若い力を大切に、阿賀地域全体へと広げていきたい。</p>				
活動状況	<p>阿賀のまちづくりを考える若い人たちによる「若者提案事業」を24年度から実施しています。毎月1回17時から集まり楽しみながらまちづくりの会議を開いています。24年度はイベントとして「1日限りの阿賀学校」を開催、25年度は「情島自然学校」を開催しました。</p> <p>情島自然学校では、子どもたちにさまざまな体験をしてもらい情島を知ってもらう機会となりました。</p> <p>主催した「若者グループ」からは「とてもやりがいがあり楽しかった。これからも色々なまちづくり事業に関わっていききたい。」という感想がありました。</p> <p>来年度以降も「若者提案」によるまちづくり事業を実施する予定にしています。</p>				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>貸切船で情島へ到着!</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>学生たちから説明</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>飯ごう炊さん</p>  </div> </div>				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>竹でおはし作り</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>竹のお椀作</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>おむすび作り</p>  </div> </div>				


番号	35	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	阿賀まちしるべ事業			事業費	1,345千円
事業の目的	<p>阿賀は、古い地名や歴史的な謂われ・伝説・伝統行事などの文化的資源がたくさんあるまちです。</p> <p>まちかどに地名の由来や地域の歴史・伝承などを書いた石柱を設置することで、阿賀に住む人たちの郷土への愛着を一層深めるとともに、阿賀を訪れた人々に阿賀を知ってもらおうとするものです。</p>				
事業概要	<p>各自治会で町名の謂われ・後世に遺すべきまちの文化や歴史、設置場所を調べ、完成した石柱を町内の人の手によって設置していく。</p> <p>石柱は15cm角、地上高さ110cmのもので、御影石で造られています。</p> <p>表には「旧町名とふりがな」</p> <p>右側面には「町名の由来等」</p> <p>左側面には「まちの自慢、歴史や文化・伝統など」</p> <p>裏面には設置者名「阿賀まちづくり推進協議会」が彫られています。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	古い地名の由来や石柱に彫り込む内容を各自治会ごとに自分たちで考えてもらい、石柱の設置もそれぞれの自治会の人たち自らの手で行った。				
活動状況	<p>平成23年度から事業を開始して、平成25年2月に「阿賀(あが)」のまちしるべ(石柱)2本を設置したことで、町内25本のまちしるべ設置が完了しました。</p> 				





番号	36	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	大空山桜復活事業			事業費	100千円
事業の目的	<p>大空山は、昭和40年に大空山公園とされ1,500本の桜が植樹され、以降毎年春には地元の人々を楽しませて来ました。</p> <p>しかし、45年以上が経過し桜の木も年々減り続けています。(公称1,200本)</p> <p>公園の桜の一部は枯れたままの状態になっており、周囲は雑草が生い茂っているため、これらをきれいにした上で大空山に地元の住民の手で桜を植樹して、桜の名所を復活させようとするものです。</p> <p>この活動で大空山の環境を整備するとともに、地域のコミュニケーションを高めていきます。</p>				
事業概要	<p>平成24年度から大空山公園の周辺の草刈等整備を行うとともに、新しい桜の苗木を住民の手で植えました。</p> <p>植樹した人はその後の桜を見守っていくこととしています。</p> <p>平成25年度は地域の草刈隊(有志の方々)や子どもを含めた家族で草刈作業をして桜を守る環境作りをしました。</p> <p>桜の苗を植樹するために整備した場所は以前は密林状態でしたが、現在は見通しも良くきれいに整地されています。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	まだ桜の苗木が小さく植樹場所にスペースがあるため、勝手に苗木を植える人がいた。山の中で目が行き届かないため、心ない人により枝を折られた苗木もあった。				
活動状況	<p>25年3月、ボランティアにより桜(ソメイヨシノ)の苗木50本の植樹を行いました。</p> <p>25年度も数回にわたり地元の有志の方々による草刈作業が行われました。</p> <p>25年12月には植樹した人たちに声をかけ約70人が草刈作業をしてきれいに整備しました。</p> <p>また、小さい苗木が目立つように苗木に赤い札を付けました。</p> 				

番号	37	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	協議会設立10周年記念事業「広げんきUPキャンペーン」			事業費	2,081千円
事業の目的	<p>当協議会ホームページ「広まちづくり新聞」のキャラクター「ひろげんき君」を、協議会のまちづくり推進キャラクターとして活用し、着ぐるみを制作。併せて地元出身のお笑い芸人「チャージスロー」と一緒に広地区の幼稚園、保育所、小・中・高等学校、大学の行事や地域イベントに参加する「広げんきUPキャンペーン」を実施。これにより、地縁・血縁のない住民や地域活動に関心の薄い住民も町おこし活動に参加しやすい機運を高めることができた。</p>				
事業概要	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> のぼり、ポスター、PRカードの制作 着ぐるみ、テーマ曲音源、振り付け動画などの制作 <p>【発信・宣伝】</p> <ul style="list-style-type: none"> のぼり、ポスター、PRカードの設置・配付 よしもとCAとの協働によるキャンペーン情報や地元CMのインターネット配信 ゆるきゃらグランプリ2013へのエントリーと投票誘致PR活動 <p>【キャラバン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学主催行事への参加 地域の文化、スポーツ行事への参加 学校現場での食育・総合的な学習などへの参加 				
この事業を企画・実施した人	広まちづくり推進協議会、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー				
苦勞した点	ゆるキャラの知名度を上げることに重点を置き、キャンペーン中の出演依頼を全て受けたため、着ぐるみの演者、アテンダント担当者、チャージスローはほとんど土日返上で対応することになった点。しかし、これによって、「ひろげんき君」を知らない子どもはほとんどいなくなった。				
活動状況	<p>■宣材設置・配付枚数</p> <p>のぼり 20本 ポスター 300枚 うちわ 1,000枚 カード 5,000枚</p> <p>■キャラバン出演回数</p> <p>30回</p> <p>■参加人数</p> <p>約20,000人</p> <p>■ゆるキャラグランプリ2013投票結果</p> <p>405位/1.529体</p> 				


番号	38	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	「第40回 広子ども祭」			事業費	1,216千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って、地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>【日時】 平成25年5月12日（日）11:20～15:30</p> <p>【場所】 広公園, 白岳小学校</p> <p>【内容】</p> <p>①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園）</p> <p>②広公園会場 夢風船飛ばし, けん玉, お手玉, だるま落とし, 竹馬乗り, 輪投げ, ゲートボール, ボウリング, モンキーブリッジ, 長なわとび大会, 大声コンテスト, 靴飛ばし, ビッグクイズ, 折り紙コーナー</p> <p>③白岳小学校会場 救助工作車, はしご車, 救急車等の展示, はしご車の搭乗体験, 写真撮影コーナー, エコ&リサイクル学習コーナー, 手形コーナー</p>				
この事業を企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 主管：広子ども祭実行委員会, 広子ども会連合会 共催：広地区社会福祉協議会, 広地区自治会連合会, 広地区女性連合会, 広地区民生委員児童委員協議会, 呉市赤十字奉仕団広分団, 広体育協会, 広西北部・広東部・広南部各まちづくり委員会 ※その他, 協力・協賛団体多数あり				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おみこしパレード(広中央中吹奏楽部)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おみこしパレード(横路中吹奏楽部)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夢ふうせんとばし</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>おみこしパレード(参加子ども会)</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>長縄跳び</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>消防車搭乗体験</p> </div> <div style="width: 33%; margin-top: 10px;"> <p>天候 晴れ (最低気温11.9℃ 最高気温25.3℃) 来場者数 2,500人 (主催者発表)</p> </div> </div>				

番号	39	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	「第65回 広地区教育祭」			事業費	2,780千円
事業の目的	<p>広村の先人達が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、住民の文化・芸術・スポーツなどの活動を盛んにすることを目的として昭和23年から毎年開催している。</p>				
事業概要	<p>児童・生徒作品展示、各種文芸活動の発表、文化講演会などのほか、一昨年からは「広地区音楽祭」と「大書揮毫」、昨年からは「広地区合唱祭」、今回は広地区教育祭の原点である「教育第一」の精神を再認識し、その精神を次世代の子どもたちに伝えていくため、歴史講演会「愛ひろ心」を新たに開催した。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会 主管：広地区教育祭実行委員会ほか 共催：広地区社会福祉協議会、広地区自治会連合会、広地区女性連合会、赤十字奉仕団広分団、広西北部まちづくり委員会、広東部まちづくり委員会、広南部まちづくり委員会 ※イベントごとに実行委員会を設立 ※その他、協力・協賛団体多数あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整 参加者(団体)の事前準備</p>				
活動状況	<p>■第3回 広地区音楽祭 11/4（祝・月） 広地区の各学校吹奏楽部と社会人バンドが一堂に会する新たなまちおこしイベントとして平成23年度から開催。地域での一体感を創出し、技術面では共に高め合い、レベルアップにつながる息の長いイベントとして発展・継続させる。</p> <p>■教育功勞者表彰式・文化講演会 11/23（祝・土） 広地区の文化・スポーツ活動に貢献した人物（団体）を表彰した。また、文化講演会では山田雅人氏を講師として、故・津田恒美氏をはじめとする「語りの世界」をテーマにご講演いただき、300名を超える方にご来場いただいた。</p> <p>■歴史講演会「愛ひろ心」 11/23（祝・土） 広まちづくり推進協議会の下部組織「ともに学ぼう広のまち委員会」による初の試みとして、山根一夫氏（広公民館長）を講師として、「教育第一」の由来と広町の歴史についてご講演いただき、200名を超える方にご来場いただいた。</p> <p>■第2回 広地区合唱祭 11/24（日） 平成24年度に「呉市制110周年」の記念イベントとして開催され、広地区のコーラスグループが一堂に会し、コーラスの発表を行うことを通じ交流を深め、広地区の文化の向上に寄与することを目的として実施している。</p>			   	





番号	40	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方夏まつり			事業費	890,000円
事業の目的	仁方地区のまちづくり計画では「仁方をもっと知り、もっと好きになり、より良い町にするために」をスローガンに「人と人との繋がりのあるまちづくり」を目指しています。その一環として「みんなで楽しむふれあい夏まつり」をテーマに仁方夏まつりを開催しました。第2回となる夏まつりは、来場者1,350人と賑わい盛り上がりしました。				
事業概要	<p>日時 平成25年7月27日(土) 午後5時～午後8時30分 場所 仁方中学校(グラウンド) 内容 第1部 こどものイベント ①仁方中学校吹奏楽部演奏 ②呉よっしゃこい踊り(仁方地区子ども会連合会) ③仁方中学校ダンス ④ネイズダンスによるストリートダンス ⑤輪投げ大会 ⑥ビンゴゲーム 第2部 みんなでたのしもう ①カラオケ大会(各自治会から約2名の歌自慢) ②お楽しみ抽選会(1等から5等まで豪華賞品)</p> <p>屋台村 風船つり・カレーライス・綿菓子・ビール・ジュース・から揚げ・くじ引き・おもしろ玩具・焼きとり・フライドポテト・かき氷・串カツ・サモサ・焼きそば・フランクフルト お茶体験・たこ焼・コロッケ・鯛めし・バザー</p> <p>※ 平成24年度から、仁方町まちづくり推進協議会、地域住民が主体となり仁方夏まつりとして開催している。</p> <p>役割分担 仁方夏まつりの実行委員がそれぞれの分野で責任者となり企画・実施した。屋台経費は、各ブースごとに独立採算にして行った。必要経費については、まち協が負担した。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり推進協議会委員が中心となって、女性会や民生委員・子ども会など各種地域団体の協力により、イベントや屋台村のブース設営等の運営を行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・屋台村ブースで、早々と完売するところもあれば、最終まで販売するブースとまちまちであった。 ・当日準備、撤収に時間がかかり大変でした。 				
活動状況	 <p>よっしゃこい踊り(子連) 綿菓子販売する皆さん 輪投げ大会</p> <p>ビンゴゲーム カラオケ大会 お楽しみ抽選会</p>				

番号	41	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方地区自主防災会合同訓練			事業費	140,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人ひとりが安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時 平成25年6月1日(土) 午前9時30分～11時30分 場所 仁方小学校「命かがやく広場」</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「津波・避難指示の発令」の広報を実施。 ②自治会・自主防災組織、消防局・消防団の皆さんが連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難する。 ③2班に分かれ応急救護訓練・要救助者救出訓練などを行う。(いずれも消防局・仁方消防分団の解説と訓練指導により実施) ④防災講話(消防局) 				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	・災害時において、どのように避難し、未然に防ぐか分かりやすく伝えられるような訓練方法 ・実際の災害時では、要援護者の安否確認避難誘導等が課題となる。				
活動状況	 <p>各自治会合同による訓練開会式</p>		 <p>初期消火訓練</p>		
	 <p>防災講話</p>		 <p>救護訓練</p>		

番号	42	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	350,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが、夏はこれといったイベントがなかったため平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を平成25年も呉ポートピアパークで実施しました。今回は、昨年よりグレードアップして約75発の花火を打ち上げました。天応町民やお盆に帰省された方など2,000人もの大勢の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年8月10日(土)午後5時～午後9時 場所 呉ポートピアパーク イベント広場 内容 ・盆踊り(呉音頭・地音頭・炭坑節) ・模擬店(焼き鳥, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, かき氷, ラムネ, ジュース, 生ビール, 缶ビールなど) ・花火(75発)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会, 女性会, 体育協会や呉ポートピアパーク友の会, 大浜子ども会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>盆踊りを継続的に実施し、盛り上げていくために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでもらったりと工夫を重ねた。また、当日だけ参加した実行委員のなかには、参画意識が薄く積極的に動いてもらえない方も見受けられた。</p>				
活動状況	 <p>盆踊り</p>		 <p>盆踊りに参加する地域住民</p>		
	 <p>模擬店の様子</p>		 <p>盆踊りを彩る花火</p>		

番号	43	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	50,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成25年4月11日(木)～5月15日(水)</p> <p>場所 呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容 各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。約1箇月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。 (竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。)</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去に当たりました。				
苦労した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。(以前は不要になった鯉のぼりを募集していたが、最近は何い合わせがなくなった。)また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	 <p>今や地域の風物詩として定着しています</p>		 <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p>		
	 <p>竹竿は地域の竹林から切り出します</p>		 <p>地域の皆さんのおかげです</p>		

番号	44	団体名	天応地区社会福祉協議会 天応まちづくり委員会	代表者	茶林 正 友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	400,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年からはじまった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年1月13日(祝)午前10時30分～午後1時 ※成人式は午前10時～午前10時30分 場所 呉ポートピアパーク イベントガレージ 内容 神事(来賓、主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等) 式典(挨拶) ソーラン踊り 振舞酒 もちつき、ぜんざい配膳 懇親会(卒業時の恩師、来賓、地域の方々) ※お酒を青竹で温めて、晴れ着姿の新成人が来場者約1,500人に振る舞い、さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして、新成人の門出を祝いました。 ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で36回目を数え、今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、天応地区の各種団体の代表者(各会場の責任者)で会議を開催し、役割分担を再確認し、受付会場、神事会場及びもちつき会場などの設営及び業務を行いました。				
苦労した点	苦労した点ではないが、この伝統行事を継続していくためには、竹の確保及び竹細工などの技術を若い人に受け継いでいく必要がある。(マンパワーの確保)				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を猪口等に加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>来園者への振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		



番号	45	団体名	昭和地区まちづくり推進委員会	代表者	神田 晃典
事業名	第8回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,145千円
事業の目的	<p>地域内のまちづくり団体などが一体となって手作りのイベントを行うことで、子どもや家族と地域とのふれあいを深め、昭和地区での一体感の醸成を図る。</p> <p>テーマ 「みんな集まれ！子どもからお年寄りまで みんなが楽しめるイベント～「おいしい」、「たのしい」、「なつかしい」が満載～」</p>				
事業概要	<p>「おいしい」 郷土料理伝承「八寸」試食会、昭和の駄菓子屋、ポン菓子、ポップコーン、カレーライス、餅とぜんざい・タラの芽の天ぷら</p> <p>「なつかしい」 絵本の読み聞かせ、絵手紙、折紙・あやとり・おはじき、竹細工づくり、親子で清水を歌い昔の遊びを楽しもう</p> <p>「たのしい」 マーチング演奏、福祉施設作品展示と販売、写生大会、カローリング大会、もちつき体験、ヨーヨー釣りとバルーンアート、スタンプラリー、動物ふれあいコーナー、消防士放水体験、はしご消防車に乗せてもらう</p> <p>延べ参加人数は10,544人</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり推進委員会を構成する各団体から推薦された20名で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦勞した点	当日は駐車場がないことから近隣店舗などに駐車する参加者が目立ち、店舗から苦情が多かった。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>もちつき体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消防士放水体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>カローリング大会</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>マーチング演奏</p> </div> </div>				




番号	46	団体名	昭和地区まちづくり推進委員会	代表者	神田 晃典
事業名	平成26年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	750千円
事業の目的	昭和地区をあげて、地区在住の新成人を祝福・激励するために式典・行事を開催。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・呉昭和高校の生徒による司会進行 ・呉市藤井清水の会による国歌・呉市歌斉唱 ・昭和中学校吹奏楽部による音楽の贈り物 ・昭和西女性会の郷土料理「八寸」試食会 ・昭和東女性会のぜんざいのおもてなし ・中学校の担任教諭を囲む会 <p>新成人出席者 301人(対象の87%)</p>				
この事業を企画・実施した人	主催は昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり推進委員会で、昭和西女性会、昭和東女性会、第19区・21区民生委員児童委員協議会、呉市藤井清水の会、呉市消防団昭和分団、昭和中学校吹奏楽部、呉昭和高校放送部の協力で実施した。				
苦勞した点	成人式にふさわしい華やかな演出や会場設営をするにあたり、市民センターでは制約が多い。				
活動状況	 <p>女性会による会場の装飾</p>		 <p>式典会場の様子</p>		
	 <p>中学生による音楽の贈り物</p>		 <p>高校生による司会進行</p>		

番号	47	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町盆踊り大会			事業費	500,000円
事業の目的	地域の伝統文化行事を継承することで、地域住民の世代を超えた絆を深め、豊かな心を育むとともに、伝統文化の継承者の育成を図っている。				
事業概要	<p>日時 平成25年8月13日(土) 午後6時30分～午後8時30分 (※準備は前日8:00～, 後片付け翌日8:00～)</p> <p>場所 郷原小学校グラウンド</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り(炭坑節・にがた・なかはた・郷原音頭・ふるさと郷原音頭) ・模擬店運営 やきそば, カレーライス, ポテト・唐揚げ・コロッケ 綿菓子, 細昆布, ゼリー, かき氷, あみだくじ, 金魚すくい, ボールすくい ・お楽しみ抽選会(うちわに抽選番号を貼付) 商品:液晶テレビ, 自転車, 扇風機, ティッシュ他 ・花火大会と和☆ROCKの演奏 ・カラオケ大会 				
この事業を企画・実施した人	郷原町盆踊り実行委員会(「郷原町を考える会」を中心にまちづくり推進委員で組織)				
苦勞した点	地域の人材によって、盆踊り大会の準備から運営全体に関わり、進行管理をしていくこと。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>盆踊りの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カラオケ大会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>花火大会と和☆ROCK</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お楽しみ抽選会</p> </div> </div>				

番号	48	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町民運動会			事業費	500,000円
事業の目的	核家族化が進んだ中、スポーツ・レクリエーションをとおして、地域住民の世代を超えた交流を行い、絆を深めるとともに、イベントを計画・実施する中で、まちづくりリーダーの育成と人材発掘を図っている。				
事業概要	<p>日時 平成24年4月22日(日)雨天中止 平成26年4月20日(予定)</p> <p>時間 8時30分～12時30分</p> <p>場所 郷原小学校グラウンド</p> <p>内容 プログラムは福祉施設入所者や保育所園児等が参加するオープン競技と、12自治会が赤白に分かれての対抗戦で構成。 競技種目：徒競争、スプーンリレー、親子2人3脚、うずまきリレー、たまいれ、フォークダンス、大綱引き、ムカデ競争、パン食い競争、ホールイン1、対抗リレー 優勝チーム、準優勝チームがそれぞれ2年後の大会まで優勝旗、準優勝カップを保管</p>				
この事業を企画・実施した人	町民運動会実行委員会(まちづくり推進委員と郷原地区体育協会)				
苦勞した点	少子高齢化の地域格差が広がりつつあるため、選手集めに苦勞する状況にある。対策として、従来5地区対抗で実地していた競技を赤白対抗戦に変更した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>雨天中止時の集合写真(H24)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>女性会有志のフォークダンス(H22)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>親子二人三脚(H22)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>総当り綱引き(H22)</p> </div> </div>				

番号	49	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町ガイドマップ制作			事業費	380,000円
事業の目的	ふるさとの歴史や史跡、自然環境を再認識し、郷土への愛着と誇りをもつことにつなげるための、まちづくり資料とする。				
事業概要	郷原地区まちづくり計画で作成した郷原マップを現状に合わせて修正し、「郷原町ガイドマップ」として3,000部作成。 平成25年11月、新たに3,000部増版。				
この事業を企画・実施した人	郷原町まちづくり推進委員会, 郷原町文化連盟, 地域住民				
苦労した点	郷原町史等資料の所在地と現状の所在地との整合作業。				
活動状況	<p style="text-align: center;">郷原町ガイドマップ</p>  				


番号	50	団体名	下蒲刈地区まちづくり協議会	代表者	渡辺 哲宏
事業名	「ガーデンアイランド〈庭園の島〉構想」に基づく全島庭園化			事業費	約430万円(3年間計)
事業の目的	下蒲刈町は、これまで「ガーデンアイランド構想」を掲げ、全島庭園化による景観づくりにより力を入れて各施設整備を行ってきた。昨今、安芸灘とびしま海道が全線開通し、この素晴らしい庭園や瀬戸内海の美しい眺望を楽しみに訪れる観光客が後を絶えない。下蒲刈は、その観光客を一番最初に迎え入れる玄関口であるため、島をあげて「おもてなしの心」でお迎えし、景観を楽しんだり憩いの場として活用してもらいたい。そこで、大津泊庭園を代表としてまちの至る所に桜やオリーブ等の植樹をしたりベンチを設置した。				
事業概要	H21年度 大津泊庭園植樹(桜80本, ベンチ4基) ※まち普請 100万 H22年度 松風園植樹(桜15本, クサマキ10本, カイツカ10本, ベンチ4基) ※まち普請 約59万 大津泊庭園植樹(桜150本, オリーブ30本, クサマキ25本・カイツカ19本) ※補 約45 才約111万(内現物支給69万) H23年度 大津泊庭園補植(桜28本, クサマキ26本, ベンチ6基) ※補40万 才50万(内現物支給約31万) 小学校植樹(桜11本, オリーブ10本) ※ゆ 約14万 住吉浜植樹(桜3本, ばべがし1本, さつき3本) ※ゆ 約12万 3年総額 まち普請約159万 合併補85万 ゆ約26万 才約160万 他植栽約数万使用 (草刈りやイベント費用含む)				
この事業を企画・実施した苦労した点	まちづくり協議会の役員が発案し、会長が中心となり実施した。当協議会の構成団体である、自治会・消防団・女性会等が協力し実施した。 大津泊庭園は、海拔が低いのと潮風がきついので、苗木が定着できるかまだ心配。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>大津泊庭園植樹中 H23.2.19</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>大津泊庭園植樹後</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>松風園植樹中 H22.11.7</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>松風園植樹後</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>小学校植樹中 H23.6.8</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>住吉浜植樹後 H24.2</p>  </div> </div>				


番号	51	団体名	グランドゴルフ喜楽会	代表者	横田 浩
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	約27万円 (内11万自治連)
事業の目的	<p>当会は、普段から大津泊庭園でグランドゴルフを楽しんでいる。この大津泊庭園に愛着があり、多くの方に楽しみ喜んでもらえる憩いの場としたかった。そこで、昔は、各家庭で鯉のぼりをあげていたが、最近はその姿を見ることがなくなっていることを考え、この場所で「鯉のぼりの吹き流し」をし、今の子ども達にも、昔からある伝統を知って楽しんでもらい、大人も昔懐かしい風景を楽しんでもらいたく実施した。</p>				
事業概要	<p>大津泊庭園において、4月下旬～5月中旬までの間高さ約10m、幅50mの間に約20匹の鯉のぼり別に竹竿でも数匹泳がした。 ※鯉のぼりは、地元住民から寄付してもらった。</p> <p>下蒲刈地区まちづくり協議会の補助で、支柱やワイヤー・コンクリート基礎などの材料費は購入し、材料の加工や設置は、当会のメンバーで協力して行った。</p>				
この事業を企画・実施した人	喜楽会のメンバーが発案し実施した。				
苦労した点	<p>平成24年度は、大津泊庭園は風がきつく舞うので鯉のぼりがよく絡まり、鯉のぼりが傷んだ。 平成25年度は、ワイヤー部分を改良しあまり絡まなくなった。</p>				
活動状況	<p>当会が企画立案した「子ども祭り」をはじめ「安芸灘とびしま海道ウォーキング大会」などで会場に華を添えた。また、地元住民はもとより、島外からの観光客やゴールデンウィークの帰省客らの憩いの場となった。</p> <p>鯉のぼりの吹き流し</p>  <p>ウォーキング大会 H25.5.11</p>  <p>約1200人が参加</p> <p>こども祭り H25.5.5</p> 				

番号	52	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	“かわじり”の新しいマップを作ろう！！プロジェクト			事業費	450,000円
事業の目的	<p>「私の目線で見つけた“かわじり”を紹介してみませんか？」をキャッチコピーに参加者の声を反映できるワークショップ形式(まちあるきを含む)で、川尻町の方はもちろん、川尻町へ訪れる方々へかわじりの中心部を紹介するマップづくりを行った(ワークショップのコーディネートは委託)。</p> <p>参加者は、小学生からご年配の方と幅広く、また、川尻町外の方の参加も多かったため、世代間交流にもつながった。</p> <p>特に、中学生ボランティアのアイデアは、柔軟かつ新鮮で、参加者同士でも川尻の魅力の再発見につながっていた。</p> <p>現在、ワークショップの内容を整理し、今年度中のマップの完成を目指し、印刷会社へ試作品を依頼している。完成後は、マップを全戸配布するだけでなく、運動普及推進委員会と協働し、定期的に「まちあるき」を開催するなど、新たなまちづくりにつなげていくことを検討している。</p>				
事業概要	<p>①平成25年10月12日(土)10時～14時 “かわじり”を歩いてみよう！！ 【参加者:28人(うち大学生10人)】 4グループに分かれ、出発地を川尻市民センターとし、約2時間30分(昼食含む)のまちあるきを行い、グループごとにおもしろかったもの、興味深かったものなどを発表した。</p> <p>②平成25年10月19日(土)10時～11時30分 ポイントを共有してみよう！！ 【参加者:20人(うち中学生4人、大学生3人)】 まちあるきの内容を整理し、マップに掲載する項目をピックアップしたり、路地やマンホールなどにこのプロジェクト独自の愛称(ネーミング)を考えたりした。</p> <p>③平成25年10月26日(土)10時～11時30分 ポイントを整理してみよう！！ 【参加者:15人(うち中学生5人)】 マップに掲載する項目に説明文を加えたり、中学生ボランティアは、マップ上でかわじりを紹介するゆるキャラづくりを行った。</p> <p>④平成25年11月 9日(土)10時～11時30分 ポイントをまとめてみよう！！ 【参加者:26人(うち中学生8人、大学生5人)】 マップのコースを考え(1グループ1コース)、全員で、マップのデザイン(イメージ)やマップのタイトルを検討した。中学生ボランティアは引き続き、ゆるキャラづくりを行った。</p>				
この事業を企画・実施した	呉市川尻町まちづくり委員会、呉サポートセンターくれシェンド、参加者の方々、印刷会社等				
苦労した点	<p>住民参加型のワークショップ形式は初めての取組だったため、ワークショップのコーディネートは呉サポートセンターくれシェンドの方に助けて頂きながら、企画・準備を行った。</p> <p>参加者募集は、市政だよりや川尻かがやき(川尻地区の広報紙)を通して行ったが、全日程に参加可能な方があまり多くなかったため、まちあるきの内容をマップに反映させていくことが難しかった(ただし、途中参加の方の意見は、反映させることはできた)。</p>				
活動状況	 <p>まちあるきのポイントを整理</p>   <p>愛称(ネーミング)を発表</p>  <p>キャラクターを紹介(中学生)</p>  <p>コースを検討</p>				

番号	53	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田邦子																													
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	387,000円																													
事業の目的	<p>成人者と地域住民の方々が試行錯誤しながら新成人を祝う会の企画運営をする「実行委員会」の活動は、今年度で4年目を迎え、次の新たな取り組みにチャレンジした。</p> <p>①実行委員の成人者のほとんどが町外在住者で活動したこと。 ②実行委員の保護者の方が交代の時期を迎え、ほぼ新メンバーで活動したこと。 ③新たな協働の取組として、中学生ボランティアスタッフを募集したこと。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営(新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営)</p>																																	
事業概要	<p>【実行委員会】 平成25年8月から活動開始</p> <table border="1"> <tr> <td>①8/10(土)</td> <td>顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア</td> </tr> <tr> <td>8/17(土)</td> <td>対象者確認・企画絞り込み・役割分担</td> </tr> <tr> <td>②9/29(日)</td> <td>企画決定・シナリオ相談・アドバイス</td> </tr> <tr> <td>12/8(日)</td> <td>懇親会の詳細確認・シナリオ校正</td> </tr> <tr> <td>1/7(火)</td> <td>中学生ボランティアへ説明</td> </tr> <tr> <td>1/11(土)</td> <td>リハーサル・記念品準備</td> </tr> </table> <p>※2回の実行委員会(8/10・9/29)の他、休日に都合を合わせ何度も成人者同士で集まり、話し合いや準備を進めた。</p>		①8/10(土)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア	8/17(土)	対象者確認・企画絞り込み・役割分担	②9/29(日)	企画決定・シナリオ相談・アドバイス	12/8(日)	懇親会の詳細確認・シナリオ校正	1/7(火)	中学生ボランティアへ説明	1/11(土)	リハーサル・記念品準備	<p>【当日】</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成26年1月12日(日)10:00～13:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>呉市川尻公民館</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内容</td> <td>受付(新成人受付・来賓受付)</td> </tr> <tr> <td>記念撮影(平台片付け・式典準備)</td> </tr> <tr> <td>式典(司会・はたちの誓い)</td> </tr> <tr> <td>懇親会(司会・運営)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"> 恩師エピソード披露・スライドショー・抽選会・中学校校歌斉唱(中学生からのサプライズプレゼント) </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"> ※赤字は実行委員会・中学生ボランティア担当 </td> </tr> </table>			日時	平成26年1月12日(日)10:00～13:00		打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00	場所	呉市川尻公民館	内容	受付(新成人受付・来賓受付)	記念撮影(平台片付け・式典準備)	式典(司会・はたちの誓い)	懇親会(司会・運営)		恩師エピソード披露・スライドショー・抽選会・中学校校歌斉唱(中学生からのサプライズプレゼント)			※赤字は実行委員会・中学生ボランティア担当	
①8/10(土)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア																																	
8/17(土)	対象者確認・企画絞り込み・役割分担																																	
②9/29(日)	企画決定・シナリオ相談・アドバイス																																	
12/8(日)	懇親会の詳細確認・シナリオ校正																																	
1/7(火)	中学生ボランティアへ説明																																	
1/11(土)	リハーサル・記念品準備																																	
日時	平成26年1月12日(日)10:00～13:00																																	
	打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00																																	
場所	呉市川尻公民館																																	
内容	受付(新成人受付・来賓受付)																																	
	記念撮影(平台片付け・式典準備)																																	
	式典(司会・はたちの誓い)																																	
	懇親会(司会・運営)																																	
	恩師エピソード披露・スライドショー・抽選会・中学校校歌斉唱(中学生からのサプライズプレゼント)																																	
	※赤字は実行委員会・中学生ボランティア担当																																	
この事業を企画・実施した人	川尻町新成人を祝う会実行委員会(成人者6人・保護者7人・地区社協(主催者)1人・川尻支所(サポート役)2人) 川尻町女性会・広交通安全協会母の会川尻支部・警察・川尻町地区社会福祉協議会																																	
苦労した点	<p>①町外在住者の住所確認・・・平成24年度から、現在、川尻町外在住の成人者に住所を確認し、12月に町内在住者と同様に案内ハガキを送付している。この取り組みが、高い参加率につながっていると思われる。</p> <p>②新メンバーでの活動・・・保護者の方のほとんどが新メンバーだったが、元PTA役員の方なので、成人者と面識もあり、1回目の会議から朗らかな雰囲気、成人者と共に創り上げたいという思いも会議のアドバイスから感じることができ、地域の絆を感じることができた。また、当日は、裏方の流れを柱に張り、新メンバーでも確認をしながら対応できるように工夫した。</p> <p>③中学生ボランティアスタッフの導入・・・生徒会役員のうち2年生の7名が応募。当日は、成人者や地域の方々に教わりながら、裏方として受付や式典準備、片付けなど積極的に活動した。懇親会では、サプライズプレゼントとして中学校校歌を斉唱し、成人者や地域住民の方々全員が年代を超えて一体となることができた。</p>																																	
活動状況	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実行委員による新成人受付</td> <td>緊張した来賓受付 (中学生ボランティア)</td> <td>裏方も経験 中学生ボランティア</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>式典司会</td> <td colspan="2">懇親会の目玉企画! ハラハラドキドキ 抽選会</td> </tr> </table>								実行委員による新成人受付	緊張した来賓受付 (中学生ボランティア)	裏方も経験 中学生ボランティア				式典司会	懇親会の目玉企画! ハラハラドキドキ 抽選会																		
																																		
実行委員による新成人受付	緊張した来賓受付 (中学生ボランティア)	裏方も経験 中学生ボランティア																																
																																		
式典司会	懇親会の目玉企画! ハラハラドキドキ 抽選会																																	





番号	54	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,220,785円
事業の目的	<p>呉市と合併後、川尻町地区社会福祉協議会が主催で開催している。 川尻地区まちづくり計画(平成21年8月呉市川尻町まちづくり委員会発行)の「高齢者の長寿を地域全体で祝う」を目標に、各種団体との協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>【H20年度～】敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼(主催者のみ) 【H21年度～】敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼(運営協力団体・主催者)</p> <p>なお、当初から司会、交通整理や運営協力(主催者含む)との協働も継続している。</p>				
事業概要	<p>【敬老会打合会】平成25年8月21日(水)18時～19時(参加者:12人) 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認した。 今回は特に、支所移転に伴い、記念品引換所のスペースが半減したため、来場者の誘導方法や記念品の配布方法等についても協議した。</p> <p>【リハーサル・準備】平成25年9月11日(水)・13日(金) リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルが、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>【敬老会当日】平成25年9月16日(月・祝) 9時～12時(敬老者:1,369人) 場 所 呉市川尻公民館(ペイノロホール) 内 容 【第1部】式典(司会:朗読ボランティア ハートフル) 【第2部】アトラクション(司会:朗読ボランティア ハートフル) ①合唱(川尻光幼稚園) ②太鼓演奏(川尻保育所) ③合唱(川尻小学校4年生) ④神楽(伊賀和志神楽団「やまたのおろち」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会 【協力団体】ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、広交通安全協会 川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会 【アトラクション】川尻光幼稚園、川尻保育所、川尻小学校、伊賀和志神楽団 【司会】朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦労した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について3月～6月にかけて正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。 平成20年度から取り入れた「打合会」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況	<p>記念品配布</p> <p>米寿者受付</p> <p>ご来場の方々</p> <p>舞台転換</p>				



番号	55	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	綿野成泰
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,259,090円
事業の目的	川尻町元気まつり実行委員会主催 2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日の開催が定着し、毎年約5,000人で賑わう。 開催までに、実行委員会(3回)や企画部会(5回)、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時 平成25年11月17日(日)9時～15時 場所 川尻グラウンド</p> <p>【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会) 【メインステージ】筆のパフォーマンス(広高等学校書道部)・仮面ライダーショー スペシャルライブ(川尻中学校吹奏楽部)・野呂太鼓演奏(川尻小学校6年生) 農産物品評会・ギネスに挑戦!? かわじりモノ尻〇×クイズ・ラッキーナンバーゲーム 等</p> <p>【わくわくイベント】ミニSL・スカイビュー 【食の元気市】焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しむ</p>				
この事業を企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・川尻町地区社会福祉協議会・協賛企業				
苦労した点	このまつりは、多くの関係者が前日準備、当日片付けを行っているが、今回は当日雨が降りテントが乾かず、翌日の片付けとなったため、実行委員のメンバーや関係者が集まらず、少人数で片付けなければならなかった。 毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源確保。				
活動状況	 <p>筆のパフォーマンス</p> <p>中学生ボランティア</p> <p>ギネスに挑戦!?</p> <p>かわじりモノ尻〇×クイズ</p> <p>野呂岩海太鼓</p>				




番号	56	団体名	川尻地区自治会連合会東部3地区自治会	代表者	蔵本恒満
事業名	東部3地区自治会 とんど祭り			事業費	160,000円
事業の目的	川尻地区自治会連合会東部3地区自治会主催 「地域ぐるみで助け愛」をスローガンに、平成21年に地域の伝統文化を30年ぶりに復活させ、以後、毎年1月下旬の日曜日に開催し、今年で6回目をむかえた。他地区からの参加も自由で、子どもから大人まで約200人が参加する。 各種団体が結束し、材料集めや資材調達等の準備を行うが、中学生もボランティアとして加わり、若い力の育成や地域の伝統文化の継承を通して、世代間交流が促進されている。				
事業概要	<p>日時 平成26年1月26日(日) 9時30分 防災訓練 10時30分 とんど祭り とんど祭り終了後～14時 豚汁祭</p> <p>場所 久俊文化会館付近の田んぼ</p> <p>内容 12月下旬から1月中旬にかけて自治会、女性会、シニアクラブ、サロン会、民生委員、中学生ボランティアが協力して材料集めや資材調達、場所の整地を行い、力を合わせて8メートルのとんど1基を組み立てる。とんどは、小学校6年生により点火され、参加者は、無病息災を願いながら餅を焼き、黒く焼けた餅を笑顔でほおぼった。 当日は、とんど祭りの他に、防災訓練、女性会手作りの豚汁祭も併せて行われた。</p>				
この事業を企画・実施した人	東部3地区自治会、女性会、シニアクラブ、ふれあいサロン久俊、民生委員、中学生ボランティア、消防署など				
苦労した点	次のポイントを基に「地域ぐるみ」で活動を継続していくこと ①各種団体の枠を超えた地区全体の結束 ②チャレンジ精神 ③若い力の育成と地域文化の伝承				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中学生ボランティアへ由来伝承</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バケツリレーで防災訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ドキドキ とんど点火</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>労いの豚汁祭</p> </div> </div>				

番号	57	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2013おんどフェスティバル			事業費	2,300,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら、研修、体力づくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場、文化、体育活動の中心として、幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”(現在の名称は大浦崎スポーツセンター)が昭和60年度に完成しました。</p> <p>この公園の完成を契機として、上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり、今年度で28回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年、町内外から5,000人を超える来場者があり音戸町で一番大きなイベントです！</p> <p>日時：平成25年11月17日(日) 9時30分～15時</p> <p>場所：大浦崎スポーツセンター</p> <p>内容：○ステージ企画 5団体による演技・演奏等、抽選会・餅まき等のお楽しみコーナー</p> <p>○会場企画 27店舗による飲食物等の出店 消防車両等体験搭乗、白バイ等体験搭乗 音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室</p> <p>○少年ソフトボール大会</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体(まちづくり協議会の構成員)の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦勞した点	<p>・より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>音戸清盛太鼓</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>少年ソフトボール大会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>餅まき</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>出店の様子</p> </div> </div>				

番号	58	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	トワイライトふれあいフェスタ			事業費	900,000円
事業の目的	<p>人口減少、特に少子高齢化の進展及び多岐にわたるレジャー施設等の進出により、音戸町において、子供と大人が楽しくふれあうことができる交流の場が減少しております。</p> <p>また、地域の核となる音戸市民センターは、新旧音戸大橋を背後に音戸の瀬戸を一望できる絶好のロケーションと広い前庭、ウッドデッキテラスを有する独特の建築構造となっております。このような負と正の現状を踏まえ、地域の皆さんとの協働により、交流と賑わいの場を創造する目的で、毎年1回、1,000人以上の来場者により実施しております。</p>				
事業概要	<p>海辺の潮風を受けながら、ビアガーデン風の出店、ステージでの催し物があります！</p> <p>日時：平成25年7月27日(土) 17時30分～20時</p> <p>場所：音戸市民センター(前庭・2階テラス)</p> <p>内容：○ステージ企画(簡易ステージ製作) 音戸清盛太鼓、キッズダンス、ハワイアン、フラダンス、コンボバンド</p> <p>○出店 生ビール、缶酎ハイ、お酒、清涼飲料水、お茶 フライドポテト、鶏の唐揚げ、タコ天、豚カツ、焼き肉、焼き鳥、焼きそば、おでん 巻き寿司、炊き込みご飯 フランクフルト、綿菓子、ポップコーン、かき氷 スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体(まちづくり協議会の構成員)の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦勞した点	<p>より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案(新鮮なアイデア)</p>				
					
	賑わいの様子		賑わいの様子		
					
	音戸清盛太鼓		出店状況		









番号	59	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会	代表者	由元 洋平
事業名	島コンin倉橋(広島県最南端で見つける恋)			事業費	375,790円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、地元の未婚男女に出会いの場を創出する。				
事業概要	<p>日時:平成25年10月20日(日)</p> <p>場所:倉橋町桂浜周辺</p> <p>内容:倉橋町在住・出身者・勤務者男性と町内外の女性,計34名が食事やゲーム,フリースペースを通じて交流し,6組のカップルが誕生した。</p> <p>参加者負担金:男性5,000円,女性3,000円</p> <p>参加者居住地内訳</p> <p>男性 倉橋15名,呉市1名,広島市2名,海田町1名</p> <p>女性 呉市10名,広島市4名,東広島市1名</p>				
この事業を企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療機関等に就業する若者が中心となって企画・立案し,観光ボランティアガイドの会などの地元住民,まちづくりサポーターなどのまち協関係者,市職員が協働実施した。				
苦勞した点	イベントの内容,交通手段や広報・募集方法等				
活動状況	 <p>呉港～倉橋まで往復クルージング</p>		 <p>昼食会場の様子</p>		
	 <p>桂濱神社での良縁祈願祭</p>		 <p>地域住民によるお見送り</p>		

番号	60	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会	代表者	木戸 慶治
事業名	くらはし お宝朝市			事業費	100,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興とともに倉橋町の活性化を図る。				
事業概要	日時: 毎月最終日曜日 9時～11時まで 場所: 倉橋桂浜温泉館 万葉の里 内容: 地元特産品の販売及び各種イベント (野菜・お宝トマト・石地みかん・鮮魚・ちりめん・牡蛎・豆腐・お花・無添加パン等) お楽しみイベント: 毎月 お買い物スタンプラリー 7月 スイカの種飛ばし大会 12月 餅つき大会 1月 焼きガキ安価販売				
この事業を企画・実施した人	倉橋産直部会、倉橋島漁業協同組合、倉橋西部漁業協同組合、呉広域商工会女性部などに加盟している団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し、市職員、市職員OBなどが協働実施しています。				
苦労した点	雨天時の対応や広報の方法、出店者やボランティアスタッフの確保等				
活動状況	 <p>広報用ポスター</p>		 <p>正月用葉ボタン等販売店</p>		
	 <p>餅つき大会</p>		 <p>販売店舗</p>		




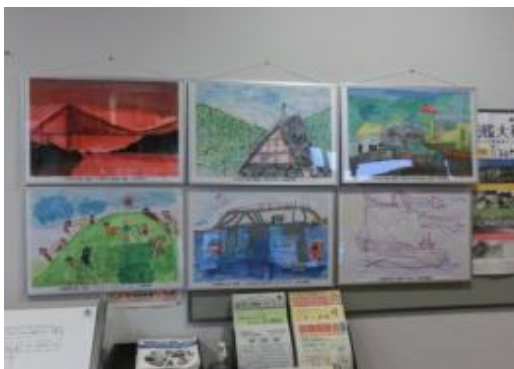
番号	61	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	原田 福造
事業名	第13回 かまがり恵みフェア			事業費	1,000,000
事業の目的	安芸灘大橋が開通した翌年より観光客を呼び戻そうと年1回瀬戸内の大自然のなかで継続的なイベントを開催し、本町のPR等を行い町内産業の振興と地域の活性化を目的として、本年度第13回 かまがり恵みフェアを実施しました。				
事業概要	日時 平成25年11月23日(祝) 午前10時～午後3時 場所 県民の浜(輝きの館)・潮騒の館・であいの館 内容 県民の浜会場(出店数24)及び各館での特産品等の販売 (みかん・お好み焼き・焼きそば・カレーライス・鯛飯・海産物・農産物等の販売) イベントコーナ 蒲刈太鼓の演奏・舞踊・ピエロの愉快的なバルーンショー等 スタンプラリー抽選会				
この事業を企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会の役員・行政職員及び各種団体長で企画し、会場の設営等は行政職員、蒲刈町まちづくり協議会の役員等で実施。またイベント当日は元蒲刈町職員にも参加してもらいました。				
苦労した点	行政職員の減少及びまちづくり協議会の役員等の高齢化により、年々イベントの運営が困難になっている。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>会場風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スタンプラリー抽選会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>アトラクション</p> </div> </div>				

番号	62	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	ええとこ村プロジェクト事業			事業費	100,000円
事業の目的	<p>安浦地区は、合併町の中で一番大きい面積を誇り、山林・農地面積が有数の規模を誇る農業振興地域であるが、急激な高齢化で遊休農地が様々な諸問題を抱えている。この状況を踏まえ、新たな休耕田活用とした農産物づくりと、農を通じたふれあいの場を創出する。また、新たな「地域ブランド」を発掘し、研究・開発を進め安浦の農産物の振興を図る。</p>				
事業概要	<p>平成24年度から、安浦の文化拠点である「南薫造記念館」横の遊休農地を活用し、蕎麦栽培を開始。25年度は安登地区の岡谷の遊休地も活用し、2ヶ所での活動事業を行う。メンバーが、8月中旬に約18アール(1反8畝)の農地に蕎麦の実を蒔き11月に収穫した。発芽後、9月には、一面に白い蕎麦の花が咲き乱れ、訪れる観光客を魅了した。収穫後は、協議会メンバー・作業に参加したボランティアの方などを招待し、「収穫祭」を行った。地元の蕎麦打ち名人が打った新蕎麦を皆で食し、地域の参加意識の向上や世代間交流が出来た。蕎麦収穫後も景観対策で、コスモスを植えて地域の景観アップを図った。今後も継続し、安浦の地域食として、学校や飲食店など活用してもらい地域を活性化できればと考えている。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の事業企画部「ええとこ村分科会」のメンバー13人が中心となって企画立案し、班長を筆頭に全員が、種まきから収穫まで携わった。また、農業経験が無かったので、地元の精通した蕎麦づくりのスペシャリストに参加してもらい、全行程の農業指導を行っていた。</p>				
苦労した点	<p>蕎麦の収穫は、お米のようにコンバインなどの機械が使えず、全てが手刈りで行い、脱穀も「足踏脱穀機」を使い、全て、昔ながらの行程で行ったため、肉体的に辛い部分があった。しかし、「日本の伝統風習を肌で感じとれ、楽しかった」と、メンバーから達成感が感じとれた。</p>				
活動状況	 <p>蕎麦の種まき・畝づくり</p>		 <p>一面に咲いた蕎麦の花</p>		
	 <p>蕎麦収穫後の景観対策「コスモス」</p>		 <p>蕎麦の収穫祭 地元そば打ち名人も参加</p>		



番号	63	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	野呂川流域自然活動			事業費	750,000円
事業の目的	<p>三津口湾に流れる清流「野呂川」を守ることは、安浦全体の環境保全に繋がる！を合言葉に、まち協を始め、自治会・漁業関係者など様々な団体と一緒に野呂川流域の環境活動を企画する。</p> <p>清掃に加えて、自然観察会・稚魚の放流・植樹などを計画し、学校や子どもを巻き込んだ活動を推進し、環境美化意識の向上を目指した事業を展開する。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●平成25年 8月25日 野呂川自然学校 広島大学と連携し、野呂川の自然形態を観察する子ども対象の学校を開催。アマゴ稚魚の放流体験を行う。【雨天中止】 ●平成25年10月10日 黒地の浜「呉市天然記念物」清掃活動事業 まち協・公衛協・地元団体が連携し、三津口湾内の史跡「黒地の浜」の清掃を実施。海浜ゴミや不法投棄を連携して回収し、清掃美化を図った。 ●平成26年2月9日 桜の記念植樹 野呂川河口に位置する、「実成新開」の道路沿いに、河津桜・八重桜 計37本を記念植樹した。地元住民とまち協メンバーで植樹し、緑に親しめる空間づくりを提供した。 この事業は呉市地域協働公共施設整備交付金を活用した。 				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の事業企画部と事務局が中心となって企画を行った。 野呂川自然学校については、広島大学生物生産学部の教授メンバーと共同で企画立案した。</p>				
苦勞した点					
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>黒地の浜清掃風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃を終えたメンバー全員で</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>桜の記念植樹(実成新開道路沿い)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>桜37本を植栽</p> </div> </div>				

番号	64	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	人材育成研修事業 「安浦たんと塾」			事業費	370,000円
事業の目的	<p>「まちづくりは人づくり！」をテーマに町内におけるリーダーの育成と地域の再発見を主に、フィールドワーク・先進地研修を開催する。</p> <p>まずは、自分が学び・知り・楽しむことで地域行事に参加し、少しずつ関心の持った方を協議会へ加入する目的である。</p> <p>安浦を大きく4つに分けて、文化・史跡等を巡る講座や特色あるまちづくりをしている先進地などを研修する。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●平成25年6月29日 野路地区歴史探訪「中切編」 ●平成25年7月27日 野路地区歴史探訪「内平・原畑編」 ●平成25年9月7日 野路地区歴史探訪「市原・野呂山編」 ●平成25年9月28日 野路地区歴史探訪「中畑・下垣内編」 ●平成25年10月3・4日 先進地視察研修「岡山県真庭市「勝山・蒜山」 ●平成25年10月19日 野路地区歴史探訪「赤向坂・藤木編」 ●平成25年10月27日 野路地区歴史探訪「女子畑編」 <p>※各地区の探訪は、地域の長老・自治会長・有識者に参加しガイドしていただく。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の事業企画部と事務局が中心となって企画を行った。				
苦労した点	探訪する際の資料づくり。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">各地域の歴史探訪シリーズ「地域の長老や有識者の方がガイドした」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">特に女子畑地区は100歳の長老が昔話・民話・風習など話し交流を深めた</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">先進地視察研修「岡山県真庭市」 勝山町の古い町並みを活用したまちづくりを研修</p>				

番号	65	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	後生に残す「まちしるべ石碑」事業			事業費	450,000円
事業の目的	安浦は、江戸時代から明治にかけて内海・三津口・野路・安登の4地区が合併等繰り返り、10ヶ村が一つの町になった歴史がある。それぞれの地域には古い地名や史跡・伝説・伝統行事等文化的な資源が多いが、現在忘れ去られようとしている。これらを石碑に刻み、後生に伝えるとともに郷土の愛着と地名の由来や歴史・文化を知ってもらうことを目的とする。				
事業概要	平成24年度から事業開始し、初年度は安登地区の6本を設置しました。平成25年度は野路地区を予定し10ヶ所(10自治会区)の設置に向けて事業を進捗しています。 「10ヶ所:中切・内平・原畑・市原・野呂山・中畑・下垣内・藤木・赤向坂・女子畑」 碑文作成にあたり、設置予定地域の歴史探訪を行い、研修後、地域の自治会長とまち協メンバーが碑文を製作します。設置は地域の中心地や神社・公共施設を主に選定し、老若男女が参加する記念事業として実施する。				
この事業を企画・実施した人	先進地として「阿賀まちづくり協議会」へ研修に行き、当事業企画部会が実行する。まちづくり協議会の事業企画部と事務局が中心となり、阿賀地区を参考に企画を行った。				
苦労した点	碑文の作成。限られた文字数の中でいかに地域の特色等を伝えるか。メンバー間が相当悩んだ。				
活動状況	 <p>平成24年度の石碑事業 安登地区6ヶ所を設置しました。</p>  <p>平成25年度の石碑事業 「中切地区」「市原地区」の設置</p>				

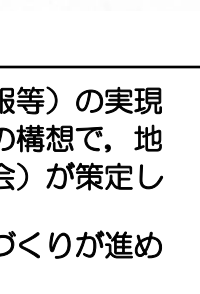
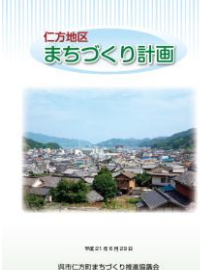
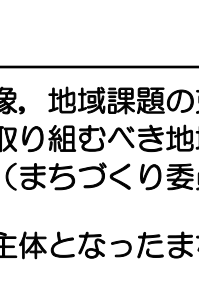
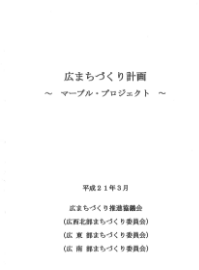
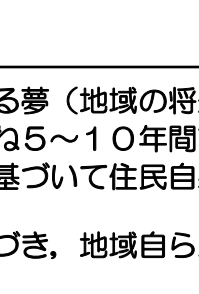
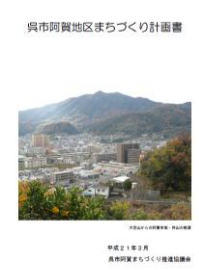
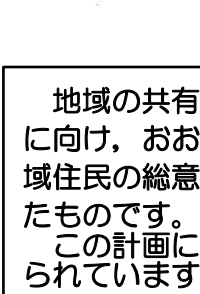
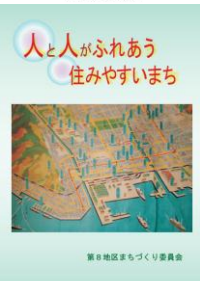
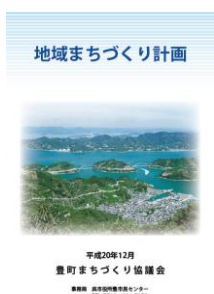
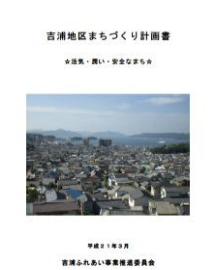
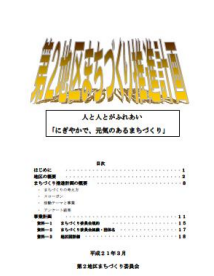
番号	66	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	多島美写生大会			事業費	110,000円
事業の目的	豊浜中学校区と豊中学校が合併されるため、豊浜中学校区が最終年となります。特に子どもたちに、島の香り・味・自然・文化など、“豊浜の良さ 魅力”を再発見してもらうとともに、“豊浜の良さ”を広報していくことを目的として、多島美写生大会を開催しました。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○応募期間 平成25年7月22日～9月20日 ○テーマ 豊浜町の好きなところ、好きなもの ○題材 島の香り・味・自然・文化など“豊浜の良さ 魅力” 豊浜町の風景、行事、人物、豊浜町に関するもの ○応募者 49名 ○賞 金賞 銀賞 銅賞 (幼稚園、小学生、中学生、成人の部) ○表彰 平成25年10月19日に開催したビューティフルアイランド祭りで表彰しました。 ○作品展示 豊浜中学校体育館(10/19)、 豊浜市民センター(10/21～11/1) 				
この事業を企画・実施した人	ワーキンググループ (まちづくり計画を策定したメンバーが中心となり、まちづくり協議会の新しい事業を企画・推進しています。)				
苦勞した点	町内の子どもたち中心に参加応募をお願いして、まずまずの応募であった。しかし、成人の応募者が少なかった。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">審査会</p>		 <p style="text-align: center;">表彰式</p>		
	 <p style="text-align: center;">作品展示</p>		 <p style="text-align: center;">作品展示</p>		

番号	67	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	第9回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業(果実品評会やバザー)と文化(舞踊、歌謡などの発表会)の祭りを実施する。				
事業概要	<p>日時:平成26年2月8日・9日 場所:安芸灘交流館(豊公民館)</p> <p>①開会式での太鼓演奏、もちまき ②産業部門 果実品評会、健康祭り、農地相談会、輪投げ大会、もちつき、米すくい、射的大会、ビンゴゲーム、大抽選会、焼ガキむきカキ・唐揚げ・うどん・たこ飯・寿司・いぎす豆腐・たこやき・やきそば・みかん味噌・みかん餅・別製アイス・クレープ・じゃこ天・関前特産品・礼文島海産物等販売。農業機械・印鑑・くつの展示販売。 ③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・舞踊・ジャズダンス・バレエ・コーラスの発表会 「独楽の曲芸・紙切りショー」 絵画・押し花・写真・生け花・俳句・墨絵、豊小・豊中学校・ゆたか幼稚園作品展。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員、文化協会の各種団体、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦勞した点	会場が、新市民センター建設地周辺ということもあり非常に狭く例年にも増して駐車場の確保に苦慮した。併せて祭り初日が20年振りという大雪に見舞われ、開会式会場・屋外出展者の出展場所の確保等々にも苦勞した。しかし、実行委員会、出展者・参加者の連携・協力により無事に2日間の祭りを実施することができた。				
活動状況	 <p>開会式での餅まき大会</p>		 <p>果実品評会</p>		
	 <p>ホールでの発表会</p>		 <p>ビンゴゲーム</p>		

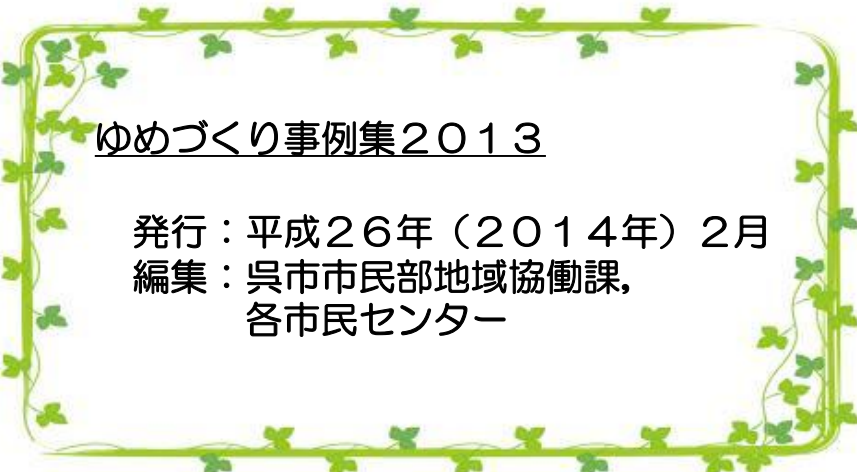
番号	68	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成25年8月3日(土) 18:00~21:00 場所:小長港フェリーターミナル前広場他 参加者数:約4,500名 内容: 「フィットネススタジオG1蒲刈」によるダンスショー 「森本ケンタ」ライブ 「D'sFACTORY」バンドライブ 「みはる」オンステージ 小長港の沖合いに台船を浮かべ、3,000発の海上花火大会を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦労した点	この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している(残りはまちづくり協議会からの助成金)。そのため集金活動が非常に大変である。このイベントは、豊地区外からも来客されるので、下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしている。また、これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>ステージイベント</p>  <p>花火大会</p> </div>				

番号	69	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「人々がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	日時:平成25年6月9日(日) 場所:豊中学校グラウンド 内容:9地区に分かれて競技する。満水競争、リレー、タル転がし、玉入れ等の競技がある。 参加人数:約1000人				
この事業を企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会、豊町体育協会、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	住民の高齢化で毎年選手集めが大変であるが、地域コミュニティ醸成には欠かせない豊地区の伝統行事である。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>選手入場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>準備体操</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学生によるリレー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ピンポンレース</p> </div> </div>				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像，地域課題の克服等）の実現に向け，おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で，地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。
この計画に基づき，地域自らが主体となったまちづくりが進められています。



ゆめづくり事例集2013

発行：平成26年（2014年）2月
編集：呉市市民部地域協働課、
各市民センター